

かいつやく

昭和50年12月25日

題字・先代 藤井得三郎氏

邪道商売

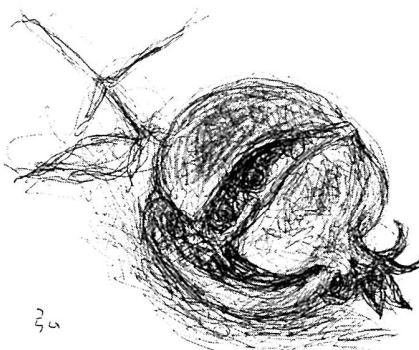
東京医薬品工業協会

豊田勤治

生まれが大阪のせいか、どうも食べものの話になってしまふ。私自身人生の半分が東京での生活になつてゐるのに喰い道楽からぬけきれぬらしい。食べことの楽しみ、チョット美味しい店だとつい続けてでかけたくなつてしまふが、どうも東京という土地柄で新しい店で繁昌しだすと、味や質・量が変つてしまふのが多く、誠に残念である。

地方へ出張で行く機会にときたまではあるが、古い店で戦前と全く変わぬのに出会うと本当にうれしい。一つ一つのお料理に人の心がこもつてゐることがありありとわかり、心ゆくまで味わってくれる。心の底から有難しさがふきでてくる思いである。

先だって十数年ぶりで、パリをたずねる機会を得た。すでにパリに二



弘三 置玉 カット

十五年柔道の先生として永住しておられる栗津正蔵先生に久しう振りにお目にかかり、再度お世話になった。またショッピングには十数年前お宅はパリの郊外にあり、百年以上もたつたという古風な建物でこんどで二度おうかがいし御馳走になつた。またショッピングには十数年前と同様奥様に案内していただいた。

十五年前では見られなかつた光景である。エコノミックアニマルといわれる所以の姿かも知れぬ。エコノミックアニマルという言葉は私は嫌をかけている。

立つていて「フランスのお土産がそろつてます。割引します。お入りになって見て下さい」と日本人に声をかけている。

十数年前では見られなかつた光景である。エコノミックアニマルといわれる所以の姿かも知れぬ。エコノミックアニマルという言葉は私は嫌をかけている。

日本人の口から言つていい言葉ではない。言うこと自体、恥の上ぬりをしているような気がしてならない。日本人自ら口にすべき言葉ではないと思う。

パリでの日本人の店を見ると大変残念でたまらなかつた。商道といふのも、やはり邪道であつてはならぬと思ふ。

商習慣という言葉でおきかえられる場合も御都合主義ではなかろうか。パリにはパリでのフランス流の伝統があつたそうであるが日本人の店が出来てから日本版お土産販売方式に変つてきて昔のようなパリの良さがだんだんなくなりつつあるのに気がついた。

大変不評をかつていてるそうである。というのも、昼休みがあつたのが、日本人の店が休まずに店を開き、お客様（日本の観光客）を、まねき入れるものだから日本人の店

と同じようにせざるを得なくなつた
そうである。

日本人の観光客が極端に多くて、
フランス製やイタリー製を買ひもと
めるからである。エルメスという店
に立ち寄つたが客の過半数が日本人
であつた。フランスでは余程、おか
ねの余裕のある人でないと高級品は
身につけぬとか。

そして日本人観光客がパリの土産
の値段をつりあげたということであ
る。日本の国内でも同様、デパ!ト
の外国製の商品をみても高級品がず
らりと高価な値札がついて並んでい
る。やはり買う人があるからだそう
だ。ときどき安いと思つてよくみると
○の数が二つほどまちがつていた
りする。

ロンドンのヒルトンホテルの地下
にある支那料理店での経験であるが
注文しない料理が請求書についてき
ていた。指摘したらほがのテーブル
のがまちがつてついていたといつて
すぐ訂正したが、日本人や米国人の
観光客がよいカモにされているら
しい。

まさに邪道商売である。氣のいい
おひとよさも海外で発揮しなくても
よいと思う。日本国内で日本人同志
に発揮してもらいたいものである。

商売は商争とも言われているが、
互に足の引つぱり合うような商道
はどうかと考えさせられることが多い。
といってきれいごとばかりでは
商売にはならぬだろうが。邪道であ
つてはならないことはいつの時代で
も同じだろう。正道が必ず最後に勝
つと思う。

ゴルフからの帰りに仲間同志で立
寄る厚木にある支那料理でもついこ
の間のことであるが、四人で六千
円(一人当り千五百円程度)のコース
を注文した。少し料理も残っていた
が、何かもう一品追加しようと仲間
の一人が言ったので、たのんだとこ
ろ、あわびとたけのこの煮たのを持
つて来た。値段を聞かずに注文した
り、まかせたのもこちらの手落ちで
あつたが、四人で六千円のコースだ
から誰れも確かめなかつた。ところ
が請求書にはなんと一品だけで三千
五百円という値段で、それもとびき
り美味しい料理だつたら、文句の一
つもでなかつたのだがまずいのでは
とんど手をつけず大半が残るとい
う。

まさに邪道商売である。氣のいい
おひとよさも海外で発揮しなくても
よいと思う。日本国内で日本人同志
に発揮してもらいたいものである。

将来的展望

わが国医薬品

三菱銀行 原田昌

方もあると思う。日本人同志の商売
にはもつともつとあたたかい気持で
やつてほしいものである。

た。このようなことを経験された
方にもあると思う。日本人同志の商売
の需要構造は大きく変化してきて
る。すなわち、三十年代がビタミン
剤、滋養強壮変質剤等に代表される
大衆保健薬主導型の高成長期であ
たのに対し、四十年代は医家向けの
薬品が急成長し、医薬品全体に占め
る割合も、四十一年の六一%から四
十八年には七九%へと大幅に増加し
てきている(第二表)。これは、薬
効別生産額にも如実に現われてい
る。たとえば、最近一〇年間の成長
率をみても、大衆保健薬が伸び悩む
一方で、循環器官用薬、代謝性医薬
品、抗生物質製剤、呼吸器官用薬等
の伸びが顕著である(第三表)。

一、医薬品の生産動向

わが国の医薬品産業は、戦後、そ
れも主として昭和三十一年以降、そ
の①経済の高度成長とそれに伴う国民
所得の増大、②医療保健制度の拡
充、③国民の保健衛生思想の昂ま

り、など恵まれた環境のもとでこれ
まで高成長を遂げてきた。因みに、
三十年から四八年までの生産額の

伸びは、一六・三%と安定した高い
伸びを示している。さらに、産業界
全体が需要の低迷に苦しめられた昨
年も、対前年比二四・三%増と好調
を維持した(第一表)。しかも、そ

の生産規模は一兆七千億円近くに達
し、米国に次いで世界第二位にラン
クされている。

ただ、四十年頃を境にして医薬品
の需要構造は大きく変化してきて
る。すなわち、三十年代がビタミン
剤、滋養強壮変質剤等に代表される
大衆保健薬主導型の高成長期であ
たのに対し、四十年代は医家向けの
薬品が急成長し、医薬品全体に占め
る割合も、四十一年の六一%から四
十八年には七九%へと大幅に増加し
てきている(第二表)。これは、薬
効別生産額にも如実に現われてい
る。たとえば、最近一〇年間の成長
率をみても、大衆保健薬が伸び悩む
一方で、循環器官用薬、代謝性医薬
品、抗生物質製剤、呼吸器官用薬等
の伸びが顕著である(第三表)。

二、収益状況

医薬品産業は、また収益的にも高
水準にある。企業の総合的な収益力
を示す総資本収益率をみても、医薬
品産業は製造業の平均を大きく上回
つていて。ただ総資本回転率は、医薬
品産業の方が製造業平均より低い。
抗生素質、ビタミン剤などの製造
設備を除いて、一般に設備負担が少
ないにもかかわらず、こういう結果
になつているのは、主として売上債

権の回転率が低いためであろう。(一

五二%前後である。

第一回) 総資産に占める売上債権の比率は、製造業平均が二五%程度なのに對し、医薬品産業は三七%に達している。

この理由としては、商品の多様性、販売ルートの複雑性からくる多額の市場在庫や押し込み販売による売上債権の累増、卸売業者に対する金融面の援助などが考えられる。

第1表: 医薬品生産額の推移 (単位: 億円, %)

暦年	生産額	対前年比伸び率
昭和20年	3.4	
25	319	
30	895	
35	1,760	
40	4,576	
45	10,253	21.7
46	10,604	3.4
47	10,918	3.0
48	13,671	25.2
49	16,977	24.3

(資料) 厚生省「薬事工業生産動態統計年報」

第2表 医療用薬と一般用薬の生産割合

単位: 億円

年	医療用薬	一般用薬
41	3,083 (60.8)	1,983 (39.2)
46	8,262 (77.9)	2,342 (22.1)
47	8,435 (77.3)	2,483 (22.7)
48	10,815 (79.1)	2,859 (20.9)

資料: 表1と同じ、一般用薬には家庭用薬を含む

注: () 内% 構成比

これが、販売経費、人件費、広告宣伝費、研究開発費などの負担が他の産業比相対的に大きいにもかかわらず、医薬品産業の売上高利益率を高めている最大の要因である。

ただ、現在高収益を謳歌しているとはい、医薬品メーカーの収益力は、昭和四十四年度をピークにして次第に低下傾向をたどっている(第四表)。たとえば、上場会社二〇社合計の総資本経常利益率は、昭和四十四年度の一五・九%をピークに十七年度には九七%にまで低下している。これは、主に①原材料費の上昇から売上原価率が上昇したこと、

②人件費、研究開発費の比率が上昇したことが原因と思われる。とりわけ、人件費は四十四年度の一四・一% (売上高対人件費率) から四十八年度には一九・〇%へと経常利益率の低下に見合う分だけ上昇している。

さらに、多くの医薬品の価格を決定する薬価基準も、健保財政の赤字累積傾向から引き下げられる傾向にある。加えて、医薬品のライフケイブルも短縮化してきてるので、メイドーの収益確保は今後ますます難しくなって行くであろう。

三、経営環境の変化

これまで高成長、高収益を確保してきた医薬品産業にも、最近とみに経営環境の厳しさが加わってきている。ここでは、こうした経営環境の変化について若干のコメントを加えてみよう。

(1) 資本の完全自由化

医薬品産業は、昭和四十二年の第一次自由化で五〇%自由化業種に指定されて以来、毎回の改訂で自由化の幅が拡大されてきたが、本年五月からいよいよ完全自由化業種になった。

第3表 薬効分類別生産額

	41年		46年		47年		48年		48/41倍
	生産額	%	生産額	%	生産額	%	生産額	%	
抗生物質製剤	645	(12.7)	1,766	(16.7)	1,742	(16.0)	2,389	(17.0)	3.7
中枢神経系用薬	651	(12.8)	1,495	(14.1)	1,511	(13.8)	1,813	(13.3)	2.8
その他代謝性薬	451	(8.9)	1,140	(10.8)	1,203	(11.0)	1,567	(11.5)	3.5
ビタミン剤	905	(17.6)	1,077	(10.2)	1,097	(10.1)	1,290	(9.4)	1.4
循環器官用薬	339	(6.7)	1,004	(9.5)	1,022	(9.4)	1,260	(9.2)	3.7
消化器官用薬	437	(8.6)	911	(8.6)	939	(8.6)	1,180	(8.6)	2.7
外皮用薬	320	(6.3)	652	(6.2)	681	(6.2)	840	(6.1)	2.6
滋養強壮質剤	226	(4.5)	384	(3.6)	393	(3.6)	440	(3.2)	1.9
呼吸器官用薬	115	(2.3)	271	(2.6)	296	(2.6)	384	(2.8)	3.3
その他とも合計	5,071	(100.0)	10,603	(100.0)	10,918	(100.0)	13,674	(100.0)	2.7

資料: 薬事工業生産動態統計年報

注: () 内% 構成比

これまで、わが国にはすでに二百社を越える外資系企業が進出してきており、外資法の枠の中で事業活動の一割を越えるシェアを占めている（第五表）。ただ、これまで外資比率が五〇%を越える企業に製造部門を持つことが出来なかつた。しかし、資本の完全自由化後は、外資は製造部門を持つことを最大の目標にするであろう。したがつて今後は、①わが国メーカーと携闊關係にある外資が、わが国メーカーへの委託生産を取り止めて、自ら製造に乗り出していく、②既存合弁会社において持株比率を引き上げ、主導権を握る、

③わが国の既存企業を買収する、などの動きが活発化してくるであろう。外資、とくに米国企業の資本を侮るわけにはいかない。

因みに、米国企業は、世界の医薬品メーカー上位二〇社のうち一社を占めているし、全欧州の約三割のシェアは米国企業が握っているといわれる。

また、英國、イタリア、フランス等では、外資系企業が過半を占め、わが国内企業の整理淘汰が急速に進んでいる。

例えば、フランスでは一九五〇年の約二、〇〇〇社が現在では四〇〇社に、イタリアでも

一九五五年の約一三〇〇社が現在五三〇社に整理されているのである。

(2) 特許制度の変更

わが国の医薬品に関する特許制度は、現在製法特許制度が採用されている。すなわち、新薬の開発に対しても三年間の先発権が認められ、その間に輸出に輸出する権利が認められた。

①昭和四十七年に米国食品医薬局

が、輸入品に輸出する権利を義務づけたGMPに関する証明を義務づけられ、その間は後発品の製造は認められない。

ただし、この期間を過ぎれば、製造が認められているのである。

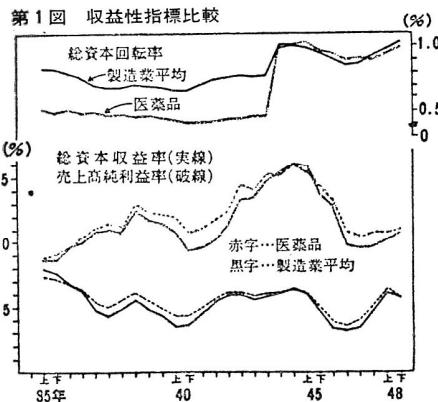
この製法特許制度が、技術開発力の弱かつたわが国メーカーを外国メーカーによる特許支配から保護したことは事実である。

しかし、最近になって海外からの圧力も強くなり、わが国でも物質特許制度の導入に踏み切らざるを得なくなってきた。（工業所有権審議会では五十一年実施の方向で検討中）

もし、この物質特許制度が導入されれば、研究開発力の強いメーカーと、技術開発力に乏しく、専ら模倣品の開発に終始しているメーカーとの間には大きな企業間格差が出てくるであろう。

(3) GMPの実施

GMPは、医薬品の製造設備、機械設備の配置、品質管理、原材料の購入記録、製品の保管等についての実践規範を作り、医薬品の安全性を確保しようとするものである。



資料：日本銀行「主要企業経営分析」より作成
注：総資本回転率は43年下期より算式の分子を「売上原価」から「純売上高」に変更したため継続していない

開発に対する三年間の先発権が認められ、その間に新薬の開発に対する権利が認められる。

①昭和四十七年に米国食品医薬局が、輸入品に輸出する権利を義務づけたGMPに関する証明を義務づけられ、その間は後発品の製造は認められない。

第4表 医薬品大手メーカーの経営指標

(単位：%)

	総資本経常利益率	売上高経常利益率	売上原価率	売上高入件費率	売上高廣告宣傳費率	売上高技術研究費率						
	30社合計	12社	9社	5社	30社	12社	9社	5社	30社	12社	9社	5社
43年度	14.5	13.8	15.5	23.9	16.0	15.0	19.0	25.9	46.3	48.5	36.0	34.5
44*	15.9	15.4	14.8	24.8	17.0	16.3	17.4	27.2	46.0	47.8	38.8	33.9
45*	14.7	14.3	12.6	22.2	15.9	15.3	15.3	24.9	46.2	48.3	38.0	34.5
46*	10.9	10.9	7.1	17.7	12.7	12.4	9.7	21.3	47.7	50.0	39.4	35.3
47*	9.7	9.2	7.4	18.6	11.5	10.6	10.2	23.4	49.3	52.0	40.4	34.6
48*	10.9	9.2	7.4	18.6	12.6	11.4	12.3	25.5	49.0	51.7	40.5	36.8
									19.0	18.4	24.4	16.0
									9.2	7.8	14.1	16.9
									4.8	5.3	3.8	2.9

注：30社……医薬品会社のうち30社合計

12社……大手12社合計

9社……大手12社に次ぐ中堅9社合計

5社……大衆薬メーカー5社合計

たこと、
②GMP実施国がすでに七〇国近くに達していること、などから、わが国でも早期実施に踏み切ることになった。

厚生省は、本年四月にGMPの運用細則を明示し、五十一年四月から実施したい意向である。

GMP実施に伴う設備改善資金がバカにならず（日本製薬工業協会加盟の七一社だけでも七〇〇億円にぼるといわれる）、加えて、検査体制強化に伴う検査員の増員もメークーにとつては頭の痛い問題である。

年 度	①外資系企業の医薬品売上高		②わが国の医薬品生産高		シエア (①/②×100)
	医薬品売上高	指 数	医薬品生産高	指 数	
昭和37年	1'0	100	2,731	100	6.8
38	205	108	3,623	130	5.7
39	209	163	4,502	162	6.9
40	406	214	4,83	176	8.3
41	420	221	5,461	176	7.7
42	563	296	6,167	196	9.1
43	751	395	7,533	222	10.0
44	941	495	9,169	271	10.3
45	1,179	621	11,152	320	10.6
46	1,397	735	11,710	401	11.9

(注) 医薬部外品を含む
(資料) 厚生省薬務局企業課

わが国においては、医薬分業の原則は法的には既に昭和三十一年に確立されているが、現実の実施率はまだ1%程度にすぎない。

しかし、厚生省では「五年後の分業率50%」を目指して、医薬分業本格化に取り組んでいる。もちろん、(1)医師にも調剤権があること、(2)薬局側の受入体制が充分でないこと、など問題点も多く、本格化までにはかなり時間がかかるであろう。

ただ、長期的には、医薬分業の進展に伴い、病院や開業医による過剰投与が解消し、医薬品需要のダウンを招く可能性が強い（一説によると、五〇%の医薬分業が進めば、医薬品需要は二〇%程度減少するといわれる）。

わが国においては、医薬分業の原則は法的には既に昭和三十一年に確立されているが、現実の実施率はまだ1%程度にすぎない。

しかし、厚生省では「五年後の分業率50%」を目指して、医薬分業本格化に取り組んでいる。もちろん、(1)医師にも調剤権があること、(2)薬局側の受入体制が充分でないこと、など問題点も多く、本格化までにはかなり時間がかかるであろう。

(4) 医薬分業

わが国においては、医薬分業の原則は法的には既に昭和三十一年に確立されているが、現実の実施率はまだ1%程度にすぎない。

年間に、四十二年九月以前に承認された約四万品目に及ぶ医薬品について、有効性と安全性の両面から再評価されることになった。

この有効性の判定に当って、挙証を割かなければならず、その負担も大きなものとなる。そこで、データーの取り纏め等に研究員が専門的知識を持った人材が必要となる。また、データーの取り纏め等に研究員が専門的知識を持った人材が必要となる。

たが、これを受けて、厚生省は六六年十月、中央薬事審議会の中に新しく医薬品再評価特別部会を発足させ、四十七年から五十一年までの五年間に、四十二年九月以前に承認された約四万品目に及ぶ医薬品について、有効性と安全性の両面から再評価することになった。

(5) 薬効再評価

バカにならない。

それ以上に、判定結果が発表されたりに沈静化しつつあるコンシュー・マリズムが再燃し、医薬品需要の減退につながりはしないかという心配がある。

バカにならない。
それ以上に、判定結果が発表されたりに沈静化しつつあるコンシュー・マリズムが再燃し、医薬品需要の減退につながりはしないかという心配がある。

第6表：医薬品の輸出・入額 (単位:億円)

暦 年	Ⓐ輸出額	Ⓑ輸入額	Ⓐ+Ⓑ 貿易額	Ⓑ-Ⓐ 入超額
昭和40年	138	228	366	90
41	146	303	449	157
42	165	372	537	207
43	179	483	662	304
44	233	590	823	357
45	358	811	1,169	453
46	385	866	1,251	481
47	377	841	1,218	464
48	443	1,034	1,477	591

(資料) 大蔵省「日本貿易月表」

第7表：主要国の生産額及び輸出・入額 (1971年) (単位:百万ドル, %)

国 别	Ⓐ 生 产 额	Ⓑ 輸 出 额	Ⓒ 輸 入 额	Ⓑ/Ⓐ×100 輸出比率	Ⓑ-Ⓒ 輸出超過
米 国	7,400	396	119	5.4	277
日 本	2,914	89	233	3.0	△147
西 ド イ ツ	1,924	538	205	28.0	333
フ ラ ン ス	1,473	258	161	17.5	97
イ タ リ ア	1,236	194	143	15.7	51
英 国	793	410	92	51.3	318
ス イ ス	652	365	94	56.0	271
オ ラ ン ダ	267	160	120	59.9	40

(注) 米国では企業の多国籍化が進み、現地生産比率が高いため、輸出比率は低い。

(資料) OECD「The chemical industry」国連統計局「貿易統計年鑑」ほか

それでは、こうした厳しい環境変

も下回る数字である。

化に対しても企業としてはどのように対処して行つたらよいのであるか。

先ず第一に、技術開発力を強化することが何より大切である。当業界の決め手は新薬の開発如何にあり、

企業の将来性は有力新薬開発の有無

にかかるといつても過言ではない。

ただ、新薬の認可基準は厳格

になつてきたり、新薬開発のリスクも増大している（一般に五〇一〇年

年の研究期間と、一〇億円単位の研究開発費が必要といわれている）。

それだけに、各社がそれぞれ総花的

に研究開発を進めるのは無駄が多い。

したがつて、複数企業による共同研究等研究開発の効率化を目指すべきであろう。

第二に、外資の買収に対処するには、株式安定化率を向上する必要がある。

今日まで資本自由化の制限業種であつただけに、一般に医薬品産業の株式安定率は低い。例えば、自由化の早かつた自動車産業は七一・四%，自動車部品業界も六七・八%と株式安定化率が高いのに対し、医薬品産業は五二・一%と低率である。これは、全産業の平均六五・〇%を

第三に、販売網の見直しも重要な

ある。当業界の流通経路は複雑なう

え、いまだにマージン、リベート、

決済方法等、取引慣習に前近代的な

面を残している。

しかし、今後人件費の高騰、人手不足が進行する中で、いつまでも複雑な流通形態を続いているわけにはいくまい。また、あらゆる面で合理的な外資の進出が流通網の近代化を促すであろう。したがつて、当業界に

とっても物流の近代化、合理化は不

可欠であり、早晚前近代的な流通網の見直しを迫られることになろう。

第四に、もっと海外市場（輸出及

び現地生産）に目を向けるべきであ

らう。資本の完全自由化で外資の攻

勢が一層激化てくるうえ、最近他

業は生命との係わりが深いだけに、

高成長、高収益を謳歌してきた医薬

品産業にも、最近経営環境の厳しさ

が加わり、試練の秋を迎えるよ

う。しかし、一方で、医薬品産

業は生命との係わりが深いだけに、

今後福祉政策の拡充とともに伸展の

期待できる分野もある。その意味

では、他産業比まだまだ将来性があ

る産業といえよう。現在直面してい

る諸問題については、前向きに対処

する必要はなかつた。そのため、

これまで、国内市場の伸びが大きかつたために、それほど熱心に輸出に注

力する必要はなかつた。そのため、

輸出比率は三%台と低水準に止つて

いる（第六・七表）。

第五に、経営の多角化も考慮して

行くべきであろう。新薬認可基準の

厳格化、新薬開発の効率低下等、医

薬品業界を取り巻く環境にも厳しさ

が加わってきており、企業の

成長力を維持するためには、非医薬品

分野への多角化を進めるべきであろ

きょうの椅子

（教育テレビより収録）

藤井 康男

―― 今日はどうも。藤井さんは

百五十年も続いた薬品メーカーの社

長として活躍されているわけですが

聞くところによると、七代目の社長

さんだそうですねえ。それだけ長い

歴史と伝統をもつた会社に就任され

たのが三十三歳、十二年経つたわけ

ですね。

就任されて、ご自分で変えてゆこ

うと思われた点、その辺から伺いたい

いと思います。

藤井 実感としては、こう変えたとか、こうやつたという気は本当はしていないのです。

ですから、ご質問にちょっとつまつてしまいますが、いま考えてみて

私の祖父というのは九十三歳まで現

役で頑張りまして、大変な商売人といいましょうか、一種の天才だったのでしょう。すべて自分で切り廻し

超人的な経営者だったと思ひます。

—— 完全なワンマンだったといふことですか。

藤井 そうですね。ワンマンとは悪い意味でいわれることもありますが、私は、徹底していただけに、当

時としては、立派なワンマンだったと思うのです。

子供の頃から、それを横目でみていて「かなわん」という気がしたんですね。みんなやり方はとても俺はできない、一人でみんなことはできません、と色々悩んだ末、結果論ですが、大勢の仲間たちと組んで仕事をすることだと思ったのです。

私自身が自然科学の出身ですが、自然科学も過去の孤独な研究者の時代から、システム、チームワークの時代に入り、今や論文も一人で出す論文はむしろ珍らしい時代になつていますが、経営もやっぱりそじや

藤井 その頃から、それを横目でみていて「かなわん」という気がしたんですね。みんなやり方はとても俺はできない、一人でみんなことはできません、と色々悩んだ末、結果論ですが、大勢の仲間たちと組んで仕事をすることだと思ったのです。



ないかという予感がしていました。

その時から現在まで、いつも立派な腕のある人、仕事のできる人を探しつづけてもう十二年間、念頭を離れないわけです。

—— なるほどね。

藤井 それを祖父に云わせると、お前はけしからん、他力本願だと。

—— 「他力本願」ね、なるほど。

藤井 俺は一人で通した、お前は全部任せっきりだ、と随分おこられ

たんです。超人の真似が出来ないとすれば、これでよかったですと思つたことだと思つたのです。

立派な人に集まつてもらうということはこれからもやっていきたいと思つています。

—— それはいなれば、経営学では、デリケーションだの、権限委譲だのというわけですが、むしろ、

天才的なお祖父さんとの対比で、自分自身ではこれでゆこうという考え方などがどこかにあつたんでしょうね。

例え、藤井さんの場合、キャリアが珍らしいですね。阪大で生物化学を専攻され、博士号をとり、三十三歳で学界を離れて経営者に、とう、違う世界に飛びこんだ違和感と、いうようなものが一番生きたという

ことはありませんか。

藤井 私は始めから素人だと思つてもらい、私はまとめて役をやつていのります。そのまとめ時に、唯一の頼りとしたのは、経済学でも、経営学でもなく、サイエンスだったと

あります、自然科学を勉強しておいたよかったです。赤堀先生に骨の随まで

叩きこまれたことが「お護り」として役にたつたと思うのです。

—— 赤堀先生とおしゃると。

藤井 阪大の総長でお辞めになりましたが、日本の生物化学の開祖といわれる方です。文化勳章も、勲一等もお受けになられましたが、日本

の生物化学の歴史というものは、比較的新しいのですが、それを最初に

世界的なレベルにまで持ち上げた大

化学者です。

—— 恩師でございますね。

藤井 不肖の弟子ですが、そのよ

うな科学をやりましたので、私の方

法論は自然科学しかないのです。

やはり、人類の歴史、ソクラテス以来二千人も三千年もかけて築き上

げた学問の本質といふものは大変な

ものだらうと思つて、科学的な判断

を叩きこわすことになるのです。

—— なるほど。それは経済学な

いしは経営学流にいえば、イノベーションということになりますね。

藤井 そうなりますかねえ。もし

うだとすれば、サイエンスはイノベーションが本筋の学問でしょうね

え。我々は、先人の学問を全部は無理でしょうが、それを土台にして、新しいところを見つけるところに次の進歩がある、我々が立てた仕事の

お前は薬屋だから化学をやっておいてよかったです。とよく云われるのですが、

それが珍らしいですね。阪大で生物化学を専攻され、博士号をとり、三十三歳で学界を離れて経営者に、とう、違う世界に飛びこんだ違和感と、いうようなものが一番生きたという

すが、私は研究は全部若い人にやつてもらい、私はまとめて役をやつていのります。そのまとめ時に、唯一

の頼りとしたのは、経済学でも、経営学でもなく、サイエンスだったと

いうわけです。

藤井 科学といふと、万能のようだつたという、その本質はどういうことになるのですか。

結果というものは、必ずくつがえされ、さらに新しいものに変わってゆくという、非常に苛烈な面があるのですね。

そういう生き方の中で、仕事をさせて頂いたということは「そう甘くないぞ、お前は学問をやつたけれど世間のことは知らん」と祖父がよく申しましたが、私に云わせれば、サイエンスのきびしさは、No. 1 があり、No. 2 以下がない社会なのです。

普通の世界は、No. 2 以下 No. 10 位までには色々評価されるでしょう。オリンピックでも、No. 3 位までは、メダルがもらえるけど、サイエンスの世界では No. 1 以外は存在しないという凄い社会なのです。

—— うーん、なるほどね。それだけのきびしさというものを学問、研究生活の中から得られたということは、非常に大きな意味を持つたと 思いますね。

藤井 もう一つの企業の側面は、

人間を通じて仕事をするということがありますね。自分以外の頭脳といふか、自分以外の人の能力の協力を得てしか成り立たないという苦労はありますね。

ある外国人が、赤堀先生を評して「ドクター赤堀は、もし道を他に選択する

んでいたら、世界最大の化学工業会社の社長が務まる人物だ」ということを云っていました。当時、私の在籍していた赤堀研というのは、研究室というよりも、一種の工場でした、五六十人位の世帯が沢山のテ

ーマを並行して、追いかけてやつているのを、先生が上に座って、うまく統率してゆくというのは、立派なマネジメントだと思いました。

御茶の水博士のように、一人の天才がぱっと何かを作るというのは、もう過去の時代で、やはりシステムだと思います。

共同研究というものが、物理でも、化学でも、生物化学でも主流になっていて、エジソン、フレミングの時代ではないと思うのです。

—— なるほど。共同研究という共同して仕事をするというトレーニングを、その中で受けておられたというわけですね。

藤井 科学者というのは、だいたい変った人が多くて、一筋縄ではいかないのが多いんですね。そういう人たちと一緒に仕事をしてきて、しひられるとか。

藤井 本來、薬屋ですから、人様の命をお預りし、奉仕する職業で、ライフサイエンスの一部だと思うのです。

藤井 もう一つの企業の側面は、人間を通じて仕事をするということがありますね。自分以外の頭脳といふか、自分以外の人の能力の協力を得てしか成り立たないという苦労はありますね。

藤井 もう一つの企業の側面は、人間を通じて仕事をするということがありますね。自分以外の頭脳といふか、自分以外の人の能力の協力を得てしか成り立たないという苦労はありますね。

藤井 本來、薬屋ですから、人様の命をお預りし、奉仕する職業で、ライフサイエンスの一部だと思うのです。

藤井 医学、薬学を広げてゆくと、最終目的は、体だけでなく、心あるいはライフ、日本語に訳せば、生活、人生、生涯、生命、この四つを含めて

氣狂いみたいな人がいないと出来ない場所なのです。

そういう人達と共同作業をするところから、赤堀先生という方は、やはり偉大な方だと思います。

—— 社長になられてから、お仕事がいわゆる多角化し、展開されていきます。これも、先程のお言葉でいえば、一種のイノベーションをや

りますね。これも、先程のお言葉でいえば、一種のイノベーションをやらなければなりません。これが、音楽産業をや

りますね。

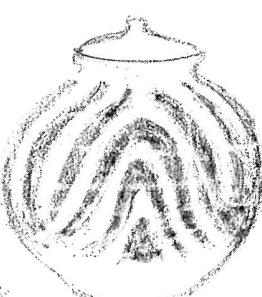
—— ええ、確かに書いて、次は音楽産業をやろうとか、病院経営をしようとか、そういう立派なことではないので、人間の技術史や、科学の歴史というのは、むしろ偶然に左右されます。偶然に発見されたものを取りあげる能力を持とうと努力してきたに過ぎないので、何かやろうとしても、実はやれるものではありません。

自慢めいて恐縮ですが、我々が作ったことは、全部世の中に今まで無かったことばかりなのです。始めたことが半分位取りあげられ、まだアップアップしていますが、半分取りあげられ得たということは、やはりサイエンスといいますか、色々と試行錯誤しているうちに、ふつと見つかったことが一つの動機になり、それがたまたまライフサイエンスの中に組み入れられる要素だったというわけです。

最初からライフサイエンスの中にいたわけですから、関連のあることは必然的にやってゆくことです。図面に書いて、次は音楽産業をやりますね。

—— 全部面倒みるよう、科学をもう一度昔の姿にかえせというわけではないでしょうか。本来の科学の姿にもどせ、いうことが科学の流行語なのです。

最初からライフサイエンスの中にいたわけですから、関連のあることは必然的にやってゆくことです。図面に書いて、次は音楽産業をやりますね。



先程もお話ししましたように、優秀な人が集まりますと、てんでんばらばらに色々なことをやってしましますから、その中から拾い出しただけでも、まだ種はいっぱいあるわけなのです。

——問題は、それを如何に拾い出すかという能力が決定的な意義があるわけですね。

藤井

そうですね。

藤井

それも偶然ですか。

藤井

それもあるかも知れません

が、私は運が半分以上左右すると思

います。いま、私共が一所懸命やつ

て、いますのは病院関係のデスボです

がね、人手が足りない、院内感染も

植えてゆく、そういう場合に、イー

トラス事業部というのを始めまして

お産だとか、手術の時の衣類、その

他の用具は捨ててしまふ、ぎりぎり

のところですね。もう少し早くやる

と世に受け入れられなかつたし、も

う少し遅ければ時代遅れになつたと

思ふのです。ですから、タイミング

ということ是非常にあるのです。そ

の意味から、運命論者みたいです

が、運が半分以上だと思つていま

す。

——サイエンティストが運命論者というのは面白いですね。（笑）

藤井 私は若い時に、偉い科学者

が、同時に敬虔なクリスチヤンだと

いうことに疑問をもちましたね。ど

うして唯物論に立脚する学徒が唯心

論的存続を容認できるのかという疑

問なのです。ところが、サイエンス

というものは、深くつつこんでいき

ますとどこかで芸術とか、宗教とか

につながつちやうんですね。です

から、運命論というのは、我々の世

界では本当にあります、例えば、

アルミニウムの電解還元法を発見し

たのは、同年、同月、同日、生まれ

たフランス人とアメリカ人が、同年

同月、同日に別々に特許を出してい

るのです。こんな奇跡みたいなこと

がいっぱいあります、運命論とま

でゆかないけれど、やはり謙虚にな

らざるを得ないのです。

——先程芸術と云われましたの

で思い出したのですが、マネジメン

トはアートであるという言葉もある

わけですね。藤井さんの会社には珍

らしくオーケストラがありますね。

藤井 道楽で。

——そのオーケストラに藤井さ

んご自身がピアニストだそうですが

そのオーケストラの持つてゐる意味

は、ひとつ共同といいますか、一

つの目的に向つて力を合わせるとか

がそのまま容認されつつ、ひとつの

調和をつくり出すのが文明の本来の姿ではないかと私は思うのです。世

界中が美男美女では面白くないでしょ

う。 （笑）

そういう発想があつたのですか。

藤井 オーケストラがあるから労

務管理がうまくいっているだろうと

か、結びつけて考えられるのは無理

はありませんが、全く別箇のものな

のです。

藤井 さつきも申し上げたように、非常

に有能な人というのは、失礼な云い

方かも知れませんが、変った人もい

るわけです。楽器をたしなむ人がい

るが、運命論といふのは、我々の世

界では本当にあります、

アルミニウムの電解還元法を発見し

たのは、同年、同月、同日、生まれ

たフランス人とアメリカ人が、同年

同月、同日に別々に特許を出してい

るのです。社員では音楽をやらない人

の方が多いので、社是、社訓という

のものが多いくらいです。

藤井 オーケストラというものは

一人ずつ違う音を出していて、違う

音が重なつて、ベートーヴェンの田

園に聞こえたり、悲愴に聞こえたり

するので、ひとつひとつでは音楽に

なつていないので。

藤井 こういうことは、例えば、国家の

体制とか、企業とかいうもの、全

体主義のよう、同じ色に塗りたい

という人もあるでしょうし、右があ

つたり、左があつたり、赤い色や白

色があるでしょう。

藤井 最高の音楽はウィーンフィ

ルだと信じています。オーケストラ

自身がしっかりと伝統をもつと同

時に、素晴らしい指揮が出でくれば

さらにいい音が出る、そんな会社に

調和をつくり出すのが文明の本来の姿ではないかと私は思うのです。世界中が美男美女では面白くないでしょう。（笑）

最近、カール・ベームさんが日本に来られ、NHKにて、面白いこ

とを云つておられました。対談の相

手の方が、ウィーンフィルハーモニ

ーとベルリンフィルハーモニーとど

こが違いますかという、大変皮肉な

質問をしたのです。ベームさんは、

両方でお振りになつていらっしゃる

のですが、その間に面白いことを

云われたのです。ベルリンフィルは

誰が振つてもいい音が出るが、ウイ

ーンフィルは、いい指揮者が振らな

いと駄目だと答えたのです。

これは痛烈な皮肉なんですが、私

は会社の理想にしても、両方の型が

あるよう思つてます。誰が振つて

もいい会社もあるし、いい人が振る

といふ音が出る会社もあるし、両方

あつてもいいと思うのです。

藤井 藤井さんの会社ではどつち

であつて欲しいのですか。

藤井 最高の音楽はウィーンフィ

ルだと信じています。オーケストラ

自身がしっかりと伝統をもつと同

時に、素晴らしい指揮が出でくれば

さらにいい音が出る、そんな会社に

なつて欲しいと願っています。

その調和とか、和とかいうものと

一方に強い個性とか、大きな確信と

かが対立する概念とれるわけですね。

—— 対立する概念と一方調和を

保ちつつ、一方イノベーションを行

なうということは、非常に強力なり

「ダーシップがいると思うのですが

どうですか。

藤井 亡くなつた友松円諦という

偉いお坊さんに聞いたことがあるの

ですが、一般に和というと、みんな

同じ色になることととられていると

云われたのです。土産物屋によく売

つている「和」という字の板があり

ますが、あれを飾つてある会社は、

逆に信用できないという人もありますね。和という言葉は、経営者にと

つて都合のいい言葉ですが、友松先

生に云わせれば、聖徳太子のいわれ

た和という意味は、当時の帰化人が

日本の文化の大半を握つていて、そ

れをごちゃまぜにしようという哲学

なので、もともと異質なものが共存

だから、全体主義的の和ではなく

そういう意味では、異質なものを調

和させるということで、アメリカの

経営学も、アメリカならではと思ひます。民主主義というのは、辛抱強く、そして時間がかかるものでしょがります。会社の経営は、そんなことは云つていられません。

毛沢東主席の言葉に「うんと喧嘩をしなさい。うんと喧嘩をしてから仲よくなるのです」というのがあります。仲間との衝突というか、切磋琢磨ということなのでしょう。

それを、なんでも仲よくとごまかすから、シコリが残つちやうので、やはり、有能な人同志喧嘩をさせるべきだと私は思います。

有能な人の和をはかるのに力でやつたら絶対駄目だと思うのです。かといって、ニコポン主義でもうまくいかない。カール・ベームさんのように、振つているのかいないのか判らない指揮の仕方というものは達人の領域ですが……。

会社の役職者が社長の権限の部分的代行者という発想を永年かかって

払拭していく必要があるのでないで

しょうか。

—— 今まで企業の組織というものは、ベルトコンベア式といいますか、物理的といいましょうか、何か

力学で運営できるような考え方があつたわけですね。それが、人間関係

さきほどのお話の、本当の和を実現

するかという方向に問題意識が動い

てきてるわけですね。十一年の社長としての実感から、そのへんはどう

のようにお考えですか。

人間の研究というものが今後の世紀の重大な課題であり、生物学の立場に立つた研究というものが進まないと、今の色々なものが解決しないと僕は考えています。

—— 要するに、生物も集団を形

成してますね。それと同じような運動法則といいますか、そういうも

のがあるだらうと予感されるわけですね。

藤井 会社といふものは、正にその意味では、わけの判らない動物の集団だという見方もできる訳です。

自分も含めて、それを支配する法則

というものがどこかにあるだらうと思わざるを得ないのですね。我々の

ような育ち方をしますと、矛盾を解

き明かしやすいような気がするので

す。

今までの医学でなしに、人間も含

めた地球の生物圏を、もう一つの

トータルのマスとしてとらえること

を考えるべきなんですね。旧約聖書

による人間は神に似せて作られたと

いう考え方から、医学の発達が遅れたといわれます。

われわれも、動物本能をもつた一

種の動物で、高等な精神構造をもつてはいるにしても、やはり動物学か

ら出発して、人間を見なおす、おか

げ参りみたいな、フレミングの自殺

みたいな変な現象もあるし、どうに

もならない潜在意識を持つてゐるし

人間の研究というものが今後の世紀

の重大な課題であり、生物学の立場

に立つた研究というものが進まないと、今の色々なものが解決しないと僕は考えています。

—— 要するに、生物も集団を形

成してますね。それと同じような運動法則といいますか、そういうも

のがあるだらうと予感されるわけですね。

藤井 会社といふものは、正にその意味では、わけの判らない動物の

集団だという見方もできる訳です。

自分も含めて、それを支配する法則

というものがどこかにあるだらうと思わざるを得ないのですね。我々の

ような育ち方をしますと、矛盾を解

き明かしやすいような気がするので

す。

今までの医学でなしに、人間も含

めた地球の生物圏を、もう一つの

トータルのマスとしてとらえること

を考えるべきなんですね。旧約聖書

—— 簡単な例をあげるとすれば



34

何がありますか。

藤井 そうですね。文科系の云い方をすれば、パーキンソンの法則といふのがありますね。何人が具合がよいかという実験は、猿でも、魚でもやつていまして、もう一度人間になぞらえるのではなく、地球上の生物として、似た要素がありますね。

—

そういう見方からすれば、人間とは奇妙な、興味のある行動をする動物ですね。

藤井 自分自身を含めて、そういう研究は、驚いたことに今までされていませんでした。人間は一番高等な、特別な生物だという設定が誤つて、道を歩いていらっしゃるのによくお逢いしました。店員の方への食事のお支度だったのでしょうか。なります。

—

私は夫人——下町風にいえばおかみさん——が葱を提げ、大根を抱えて、道を歩いていらっしゃるのによくお逢いしました。店員の方への食事のお支度だったのでしょうか。なります。

株式会社 西村豊七会長

元老に聞く (第九回)

ざいましょう。

その陰に、内職までされたまつ江夫人の大きな内助のあることは、万人のひとしく認めているところでござります。

私は夫人——下町風にいえばおかみさん——が葱を提げ、大根を抱えて、道を歩いていらっしゃるのによくお逢いしました。店員の方への食事のお支度だったのでしょうか。なります。

西村さんはことし七十七歳、まつ江夫人は七十三歳。いつまでもお健やかで、お偉せを心からお祈りしつづ辞去いたしました。

—— まず会長さんのご郷里から伺いましょうか。

西村 三重県多気郡蓑村です。伊勢松阪と山田の中間です。

—

どうりで、伊勢音頭が十八番なわけですね。(笑)

—

西村 私は五人兄弟の末子なんですよ。東京で呉服屋をしていた次兄から、東京へ出てこないかといわれ、十三歳で東京へ出てきたのです。

—

いざ郷里を離れるというときは、悲しくて、便所の中で、餓別の五十銭紙幣を握って泣いていました。何

—

といつても、十三歳の子供ですからね。田丸駅から汽車に乗り、郷里と別れるときはとても淋しかったですね。

西村さんのゆるぎない信念と、純粋さが現れています。いったい、このようないい企業がほかにあるでしょうか。

昭和三十九年には、薬事功労者として、都知事から褒賞を、また昭和四十一年には、中小企業の発展貢献者として、総理大臣から名譽副總裁賞を得ていらっしゃいます。—— どうも今日はありがとうございました。

福田さんから薬を仕入れ、毎日荷車を挽いて配達していました。その縁で、私は福田さんに奉公したということです。明治四十四年四月のこと

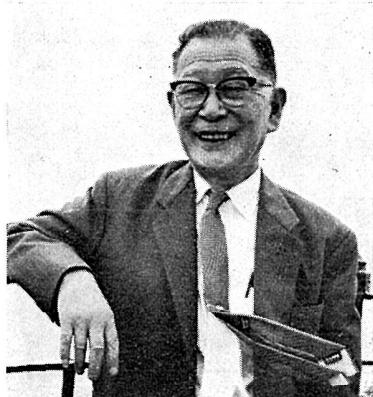
二十五歳になつて、当時の仕事の「暖簾分け」で、福田盛光堂常武部（常陸武藏方面）という名で、独立の下準備をしていました。

—— それで、今でもそちらの方面の地盤が強いわけなんですね。

西村 そういうことです。独立してのは大正十二年三月ですが、開業して半年で大震災に遇つてしまいま

震災のとき、私は千葉県の五井に出張していました。星野さんのお店で、判取帳に「金十五円也」と記し終つたとたんでした。夢中で判取帳と鞄を抱え、電信柱にしがみつきました。その晩は、星野さんと共に、隣りの空地に野宿し、翌日市川まで歩いて金子さんを訪ねて野宿し、三日にやつと東京へ入りました。両国橋は壊れ、一方通行でした。

西村 洋館というものがありませんから、一面の焼け野原なので、目印は電車の線路だけです。線路づたいに鉄砲町にたどりつき、たずねてみましたら、福田さんは東京駅方に、半年ばかりご厄介になつていま



へとへとで、自転車を漕ぐ力が出ません。降りて自転車を押しながら、歩いて帰ってきたものです。あのへんは淋しい所で、お化けが出るという噂があります。

面へ避難したという話なので、そちらへ行つて、福田さんに逢うことができました。福田さんは、荷車に荷物を積んで逃げたのですが、途中で火の粉をかぶり、危くなつたので、荷物を全部捨てて、命からがら逃げてきたといふことでした。私の頂いたお仕着せも、その時に焼けてしまいました。

西村 トクホンさんは、当時トリアンマ（鳥印のあんま膏）とか、万能膏とかを発売しておられました。トクホンはもつとあとですよ。

有名売薬では、太田胃散、ロート

三菱ヶ原（現丸ノ内）といつていた避難先で、福田さんから「お前いくらか持つていなか」と聞かれました。

—— ご主人に貸したというわけですね。（笑）

西村 下落合に指田さんという製薬所がありましたね。福田さんと取

室町へ店舗をお建てになりましてはいっ頃です。



した。ここを本拠にして、得意先廻りを始めたんですが、品物がありませんでね。

埼玉県の鴻巣まで自転車で配達するんですが、帰りは板橋の宿場あたりまで来ると、もうへとへとで、自転車を漕ぐ力が出ません。降りて自転車を押しながら、歩いて帰ってきたものです。あのへんは淋しい所で、お化けが出るという噂があります。

昭和十四年頃、地下室を造ろうと先廻りを始めたんですが、品物思って、家屋を持ち上げて、穴を掘りましたら水が湧いてきました。江戸時代の水道木管を掘り当ててしまつたら水が湧いてきました。また防水をやり、コンクリートを打ちました。また防水をやるという工事でした。やつと固まって、入居できたのは昭和十五年でした。

防水をやり、コンクリートを打ちました。また防水をやるという工事でした。やつと固まって、入居できたのは昭和十五年でした。

その以前は、大伝馬塩町（現本町四丁目）で、そこが発祥の地になりますので、記念として、今でも倉庫に使っています。

話は戻りますが、大正十二年、私が二十五歳のとき、常武部の月商が三千円になって、大正十三年に世帯を持ちました。当時、福田さんの月商は一万円位でしたでしょう。私は福田さんから得意先を譲って頂いたのではなく、独立で開拓したものでした。

その頃、電車賃は往復割引で七銭でした。私は、上野駅まで歩きましたが、五十分かかりました。午前四時すぎに、和泉橋の交番の前を通りました。當時、よく巡査に不審訊問を受けたものです。（笑）

上野駅から始発に乗り、宇都宮へ着くと午前八時、一日商売をして、終車で帰つてくるわけです。

福田さんのご紹介で、玉置さんと直取引ができるときは嬉しかったですね。玉置金八さんはすぐOKして下さったと聞いて、今でも恩人だと感謝しています。その後、大木さんともお取引ができました。

—— ご結婚のロマンスとかありますか。（笑）

西村 とんでもない。そんなもの

はありませんよ。家内が次兄の野田

えませんか。

屋呉服店に女中奉公をしていました、兄の命令で結婚したのです。昔はそんなものですよ。

だいたい、農家では、長男が跡をとり、あとの子供はよそへ出て行く仕来りでした。四番目の兄は今年八十歳ですが、今でも伊勢で傘屋をやっています。

昭和十二年に戦時統制となり、昭和十八年に東京都家庭薬配給株式会社第五配給所として、配給業務に携わっていました。

昭和十九年十一月と、昭和二十年二月の二回の空襲で、店舗も商品も焼失しましたが、いち早く営業を再開し、戦後昭和二十四年二月五日に株式会社西村成光堂と改組したわけです。

家庭薬、漢薬と何でも扱つていましたが、結局家庭薬一本になりました。当時は、新薬といつても、三共さんのタカジアスターとか、カスカラ糖衣錠くらいのもので、鳥居さん、友田さんは貿易が主のようでしたね。

—— 五十年間に亘つて、家庭薬を中心のご商売をしてこられたわけですか。（笑）

西村 とんでもない。そんなもの

いませんか。

西村 内容公開になったときは、困ったメーカーさんもあったでしょ

うね。これからは、GMPで設備が莫大にかかることでしょう。合併より道がなくなるのではないか、とい

う気もします。なかには、廃業せざるを得ないところも出てくるかも知

つかしいでしょうね。ところで、お店の信条というようなものについて何かお話を聞かせ下さい。

西村 とくべつございません。何でも扱う便利な問屋、品切を出さない、手早くお届けする、安心して取引できる問屋ということでしょうか。

問屋自身としては、共存共栄でゆきたいと念願しています。いま八百五十軒ばかりのお得意さんがありますが、そのお得意さんとしっかり手をつなぎ、また消費者の声をじかに聞きたいという気持から薬局（ゆたか薬局・目黒五本木）を直営しています。よそさんは、安いところもある

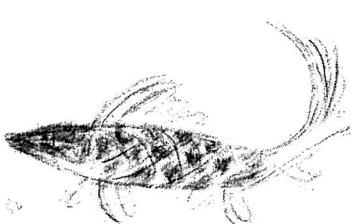
ようですが、うちも定価販売を守っています。値段を聞いて帰つてしまふお客様もありますよ。（笑）

—— 御主家の福田家の墓参を欠かしたことがないと承わりましたがないと承わりましたがあらうに思われます。

西村 ただ家業を守つてゆきたい

期待できると思います。資本の力だけなしに、お説の通り、精神のこころもっているメーカーが勝つことにないましよう。

西村 立派な後継者もいらっしゃるし、ご安心ですよ。どうも本日はありがとうございました。



蒐集ものがたり

ミニチュア洋酒壇一

株式会社津村順天堂、津村幸男専務様は楽しいご趣味をお持ちになつておられます。洋酒のミニチュア壇の蒐集でございます。

一つ一つに注がれる愛情に申乙はないのですが、とくに第一に挙げる

西に亘り、いろいろなものが蒐集の対象となつています。

「用」のあるところに「美」があるとは柳宗悦先生のお言葉ですが、まったく用ひないで、封を切らないままの洋酒を愛蔵するということは純粹な気持の持ち主でないとできないことでございましょう。

ビュッフェの画をかこみ、壁面に嵌めこまれた専用のガラス戸棚にはぎっしりと小壇が並んでいて、息を呑む見事さでございます。

プラモデルの船は航行できないし飛行機は飛べませんが、このミニチュアは「本物」でございます。

四分の一世紀に亘る蒐集の軌跡と千本に垂んとする膨大なコレクションはリストが作りようがないとのことでございます。

一つ一つに注がれる愛情に申乙はないのですが、とくに第一に挙げる愛蔵品は、先年ご令兄の重舎社長がブータンに行かれたとき、持ち帰られたウイスキー『99° V・O』で、日本にただ一本という珍品でございます。製造元はBHUTAN

TRAL DISTILLERIE

Sとなつています。

また、最高級品は、コニャックのSXLと呼ばれるもので、小壇で九千円、普通壇なら八万円というしろものでございます。

このようなきびしい篩にかけられたものだけが、コレクションの資格を与えられると聞いて、その蒐集態度に敬服いたしました。

病みつきの動機というのは、むかし八重州通りの裏に喫茶店があつて専務様がそこの常連だった二十五年

このようなきびしい篩にかけられたものだけが、コレクションの資格を与えられると聞いて、その蒐集態度に敬服いたしました。

この

さて、小壇とは小さい壇に違いありませんが、それには条件があるとのことでございます。

まず、必ず大壇のあるものでなければならぬといふことが大切な資格があります。装飾品として見かけられる動物や鳥の形をしたミニチュアはある動物や鳥の形をしたミニチュアはありません。日本製の小壇も資格がありません。日本製の小壇も対象とはならないし、葡萄酒や、ビルのミニチュアというものも存在していません。

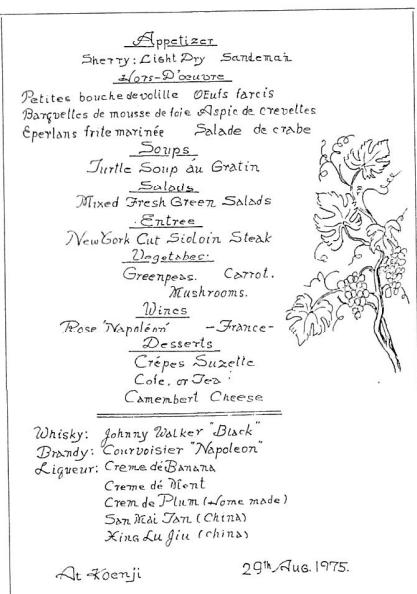
このようなきびしい篩にかけられたものだけが、コレクションの資格を与えられると聞いて、その蒐集態度に敬服いたしました。

昔は、大壇一ダースに小壇一本がついていました。つまり「オマケ」で、今のドライな「添付」とは本質的に違うものでした。

戦後、小壇に独立した人格が与えられるようになつたのは、飛行機内での小壇が好評だったのが発端というふうなことを伺いました。

ミニチュア壇の定義や規格といふものはとくにないようですが、大壇をそのままそつくり小さくしたものということになつています。ラベルだけ拝見しても、どこの国なのか、中味は何なのか、私たちにはさっぱり判りませんが、とにかく可愛くて、楽しいコレクションであること

はたしかでございます。



当日のメニュー
(津村幸男氏筆)

その晩はクリスマス・イブだったそうで、お客様に洋酒の小壇がプレゼントされました。それは米国のフォード・ルーズ(ウィスキーボトル)でした。首に紅いリボンを巻いて、プリンセスとして現われたのでした。

も前に納められます。

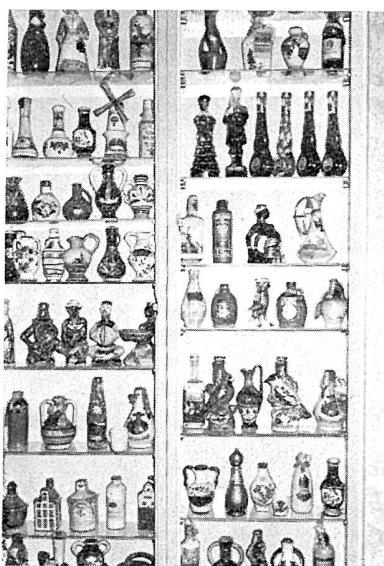
アローズ(ウィスキーボトル)でした。首

トされました。それは米国のフォ

ード・ルーズ(ウィスキーボトル)でした。首

外国の酒屋さんを覗くと、第六感でなにかありそうだと、ピンとくる。というのは、長年磨きぬかれた感でございましょう。

ご自分でも、収蔵品なのか、珍品なのかお迷いになるくらいですから、旅行者が依頼されてもまったく見当がつく筈がなく、結局おひとりで集められるしかないのだそうですござい



コレクションの一部

るという話でございます。しかし、脇野氏には「応援団」がいて、竹田恒徳氏、団伊玖磨氏、サントリリーの佐治社長や、ニッカの竹鶴常務などの有力メンバーが協力しているのでございます。酒税局のお役人で千二百本集めた方があるそうですが、純粹な愛好から外れるような気がいたします。純粹な気持で、ひたむきに集めておられる専務様こそ本当の蒐集家というべきでしょう。

世間には、ミニチュア壇の愛好家はかなり多いでのよう、王子製紙の脇野辰夫氏は二千本集めておられ税ということになっていますが、時として中味の合計が大壇一本分になると課税されることもあるとのことでござります。

どれもこれも、美しく、可愛いものばかりですが、私自身の好みからいえば、陶器が優しく、温か

みが感じられます。オランダの風車や建物を見ていると、箱庭を作りたくなりますが、その形もいろいろです。が、ベリー類の果実酒の入った壇の愛敬はかくべつです。首を「ハテナ」と曲げて、作者もうしろで笑っていることでしょう。

イタリーのものがいちばん変り型が多く、中国のものは眞面目一方というのも、やはりお国柄というわけでしょう。

壁面を埋めた美しい小壇に眩惑されながら、愛嬌久美様のお料理がまた楽しく、おいしく、洋風の懷石を頂いているような気持でございました。

◎ ブランデー (百十六本)	
① コニャック (九十八本)	ヘネシー (エクストラ、XO、ブランデール、VSOP、三ツ星等二本) マーテル (コルドン、ブルディ、エキストラ、VSOP、フロステイボトル、三ツ星) ピスキー三ツ星等五本) クルバジエ
(エキストラ、ヴィエイユ、ナボレオン、VSOP 三ツ星等七本) レミーマタン (ルイ十三世、ナボレオン、VSOP、等五本) ポリニヤック (ナボレオン、VSOP、三ツ星) サリニヤック (ナボレオノ、VSOP) ピスキ (ゴールド、ナボレオン、VSOP、三ツ星等五本) カルバドス (ファイン、ノロイス) オタード (VSOP、ブラック) 他 四十八本	二本) マーテル (コルドン、ブルディ、エキストラ、VSOP、フロステイボトル、三ツ星) ピスキー三ツ星等五本) クルバジエ
② アルマニヤック (八本) フランス以外 (十本)	ヘネシー (エクストラ、XO、ブランデール、VSOP、三ツ星等二本) マーテル (コルドン、ブルディ、エキストラ、VSOP、フロステイボトル、三ツ星) ピスキー三ツ星等五本) クルバジエ

◎ ウイスキー (百三十四本)

- ① スコッチ (八十四本)
バレントайн (ファイネスト、三十

(次頁下段に続く)

<シリーズ>

家庭薬の流通における諸問題（その6）

在名メーカー営業部員は語る

（昭和50年9月26日収録）

司会 本日は、大変お忙しい中に
お集り頂きました有難うございま
した。実は東京都家庭薬工業協同組
合の広報誌『かていやく』に在名メ
ーカー営業部員による『家庭薬の流
通における諸問題』というテーマで
座談会を開き、その内容を掲載した
いとのご依頼がありまして、皆様方
にお集り頂いた訳でございます。

A 現在、名古屋にあります金曜
会の発足はいつ頃からで、目的はど
のように事なんですか。

B 金曜会は、昭和三十九年に發
足し、現在二十社で構成していま
す。その前に、金曜会が出来た経緯
を少し説明しますと、以前、東西の
メーカーさんで営業を担当なさって
居られました。確か、三十社だった
と思います。それが中薬会メンバー
の中で、森下仁丹さん、わかもとさ
ん等が、既に名古屋へ支店を出して
居られ、それに鈴木日本堂さん、参
天さん等の営業所が増えてきた為、

当面する問題や、将来の展望など
について、放談で結構ですから、お
話を伺いたいと存じます。

金曜会の成り立ち

荒川さんなどと話合って出来上った
のが金曜会なんです。例会は皆さん
が集り易い金曜日と言うことで、会
の名称もここから由来しています。

C 金曜会が発足した当時は、中
薬会の下部組織みたいな形になっ
て、価格問題があつたり、小売組
合さんの協賛問題があつたりします
と、東西メーカーさんにそれぞれ連
絡していたと思います。しかし、連
絡の不徹底があつたり、恩恵が多少
違つたりして、在名メーカーの金曜
会が少しづつ活力の範囲を広げてき
たたとりますね。

B たしかに金曜会も発足当時は
親睦団体的な面が強かったです。
しかし、東海地区の卸のいろいろな
情報を持つんだり、小売組合との問
題、乱売に対するメーカーの対策、
あるいは量販店問題など、いい意味
でお互いの情報交換の場が必要だつ
たので、会を前向きに進めて行きました
いという気持があつて骨組が作られ
てきたといえます。

A 最近は小売組合の流通問題と
か協賛、地元卸の二次店問題など

出先営業所としての共通の問題も出

てくるし、これだけ増えれば中薬会
とは別に、名古屋でも何か会を作ろ

うではないかとの発案から、地元の

シーパス リーガー。ギルビー（ロ

イヤル、ファイン、オールド、スペ

ンヤル オールド） ハイランド

クイン（十五年、スタンダード）

ハイグ（四本） ハイグ アンド

ハイグス（二本） ジョニー ウォ

ーク（黒 赤） ジョン ベック

（二本） キング オブ キングス。

キンギ ショージ 四世。ロング

ジョーン（二本） オールド バー。

バスボート。ビンチ。バット 六九。

ホワイト ホース。 ホワイトラベ

ル。他 四十九本。

② カナディアン（十本）

シーグラムス V.O.（二本） カナ

ディアン クラブ。他七本。

③ アメリカン ブレンンド（十本）

シーグラム セブン クラウン。

カルバート。オールド トムソン。

他 七本。

④ バーボン（一十六本）

フォア ローゼス。（一本） I.W.

ハイバー。J.W. ダント。オールド

クロー。他 二十二本。

⑤ 其の他の国（四本）

で、金曜会に対する要望も多くなつてきており、そういう意味では、少しづつ前進しているようですね。

B 先に、一寸触れましたが、名古屋には中薬会と言う金曜会も包含された会があります。この中薬会は年に二回の会合を開催して、東西メカーさんの営業担当者を交えて、東海地区の情報交換をする事にしております。

最近は情報が十分伝達される事に

かどうか、やや疑問を感じますね、だから中薬会を少し見直さねばなら

ないと考えます。
話がそれましたが、数年前迄は、金曜会と言いましても「金曜会って何だ?」と言われるありさまで、当地域の薬業界に於て、殆んど理解されていなかったのが、最近は一応、業界、卸、小売組合さんなどからも認識して頂くようになりました。それだけ存在理由がでてきたのでないでしようか。

司会 金曜会の主旨は「家庭薬メカーノの親睦を図り業界の情報交換関係諸団体との連絡を密にし、業界の健全なる発展を目的とする」となっていますね。

卸さんへの期待

司会 金曜会二十社が、共通の問題で卸さんと話し合うことなどについていかがですか。

A まず地元卸さんの会としてのまとまりはどうですか。

例えば、大阪でしたら家庭薬専門の卸があり「親和会」として会もまとまっておられます。この東海地区は新薬を主体とした卸もあり、総合商社的な考え方で、その内の一部に家庭薬を扱っておられるのが実情だと思います。

そういう中で家庭薬を専門に扱っておられる御さんの会として「協薬会」があるわけですが、現在問題となっている流通二次卸の件などについて協薬会としてもっとまとまりがあるべきだと思います。

C 今言われた、医専卸と、家庭薬卸を、どこで分けるか。これは大変難しい問題ですね。分けて考えること自体、無理なんじやないですか。

司会 医専卸が家庭薬市場に喰込んでいる様に、家庭薬卸では逆に新薬部門に進出されていますね。そここのところを考えると、医専の分野だ、いや、家庭薬の領域だと一概に言えないよう思うんですがどうでしょう。

B 地元卸店さん的一部には、保守的な考えがあるよう思えます。お互いに共通の問題があれば、まとめておられますが、この東海地区は新薬を主体とした卸もあり、総合商社的な考え方で、その内の一部に家庭薬を扱っておられるのが実情だと思います。

京、大阪より少し遅れているのじやないかなア。

商売に国境は無いと言うでしょ。お互いに共通の問題があれば、質問が出ていましたが、その前に一度伺ってみたい事があるんですよ。

医専卸だの、家庭薬卸だの言つてな

B 地元卸店さん的一部には、保守的な考え方があるよう思えます。お互いに共通の問題があれば、まとめておられますが、この東海地区は新薬を主体とした卸もあり、総合商社的な考え方で、その内の一部に家庭薬を扱っておられるのが実情だと思います。

京、大阪より少し遅れているのじやないかなア。

商売に国境は無いと言うでしょ。お互いに共通の問題があれば、質問が出ていましたが、その前に一度伺つてみたい事があるんですよ。それは代理店としての卸機能を十分果して頂いているかどうか。いわゆる、隙間を埋めて頂いているのか、と言うことです。

こちらにもう少し問題が有るよう思われるんですけどね。

A 具体的に言いますと、各メーカーさんは、それぞれに名古屋としてのノルマが課せられていると思います。

そのノルマに対し、実績プラス幾らかでも上積みされた裏付け的なものが、地元卸さんよりメーカーに呈示があり、達成して頂けるなら二次

なくて、如何にしたら現状から脱皮して行くか、相互に於ての対話を考えて行く必要があると思いますね。

司会 先頃から地元で問題になつてある二次卸の件については、どう

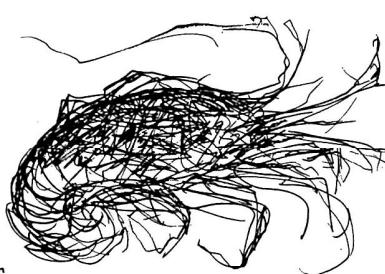
示があります。それがなければ卸値が大幅に下つて市場価格が混乱する場合とか、商慣習を著しく阻害する問題が発生した場合なども、地元一次卸との話合いにより解決の方向に進めるんじやないですか。

F 私共では、卸店さんからの要請によって指定二次店を作つて居りますが、その場合、特にその地域に

必要だと思われるお店、いろいろな面で協調して頂くお店を認めております。しかし、東海地区に關しては、最近二次卸さんは少しづつ減らして行く方向にはありますね。

B 先般、二次卸の件で地元より度伺つてみたい事があるんですよ。

医専卸だの、家庭薬卸だの言つてな



D 二次卸の問題では、あまり突

つ込んだ話が無かったようですが、金曜会二十社の内情がそれぞれ違いますからね。一方、地元卸さん側は問題を出された以上、纏まらないければならないでしょう。だからあの場合発言が少なかつたと思うんです。

これが価格対策などのように問題がはつきりしていると、是が否でも名古屋で解決し、処理しなければならないけれど。今度の場合、本社の意向を組入られねばならないから難しいですね。

卸さん側が受けられた感じでは物足り無かつたんじゃないでしょうか。

司会 まあ、それぞれ社の方針が異りますので、会合になると発言が少なくなりますけど、しかし、言わなきやならない事は、出来る限り言つて、相互理解をしなければなりませんね。

E 私の社の場合、比較的はつきりした事だから答は出てますよ。

D 東京でも同じ様な問題が出て

いるようなので、回答が別々では困るんで、本社の方で検討していま

す。

司会 全てのメーカーさんとは言えませんが、今度の二次卸の問題は或る意味に於て、家庭薬に対する警鐘とも受け取れますね。

即ち、営業の指針をはつきり示してもらいたいという問題を投げかけてきたと、受け止めてもいいのではないでしょうか。如何でしょう。

C 各社それぞれ経営方針に基づいて営業してこられたと思うんですが今回の事に依つて、我々の考えを検討し、その上で営業方針を立てられると言う事ではないんですね。

E いろいろ話が出てますが、地元卸の方から、今度はガッチリ足並みをそろえて行くんだという話を伺っていますが本当ですかね。

今まで、私自身もそう思つていな

せんね。

卸さん側は二次卸の質問に対しても各社の返答を貰つた中で、内容が理解しにくい場合は、そのメーカーに更に話を伺いたいとの意向のようでしたよ。

かれたし、難産だったですよね。

司会 卸さんの中にも、自分達の足元を十分かためてから、メーカー

に言うべきことを言おうと自戒する

ありますね。

E 過去、東京でも検討会をしてはその直後裏道を走つたり、足の引

張り合いがあつたりでしたけど、一歩ずつ進んで行つて今の様な形が出

ます。

今、卸から出ている質問事項にし

ても、各社営業所長としての方針を求めておられる訳でしょう。Eさん

と話したんですけど、回答を求められている以上卸さんから何も言つて来ないなんて言われたんではまずいですよ。

実際に検討して居られるんだったら、検討中ということでも返答すべきだと思いますね。

E 一社、一社だと割合何でも話が出来るんですよ。私共の社では毎月卸さんの責任者と会合を持つています。

会合の内容は、卸小売価格の問題や、売つ頂きたいもの、又、現在の実績はどんな具合になつてゐるのか、などをオーブンにして、グラフや数字などを示してお互の問題点を討議しています。

よ。

一次卸の問題を徹底して、やるな

ら責任ある方が出で来られて、卸さ

んじっくり話し合いをする。東西

は、それぞれで考えて貰うとして、

金曜会として膝付き合わせてやる。

單なる情報交換の場であつては、い

けないと感じますね。

もっと積極的にやって行きたいで

すね。



司会 やはり各社それぞれの考
があるわけで、例えば、セット販売
にしても、二次卸にしても、認め乍
ら広く全国的に販売して行く方針の
ところもありましょうし、それはそ
れでいいんであって、卸さん側から
話合いの要請があれば、その時に方
針を十分説明なさつたらいいんじや
ないかなア。

他の地区は問題が無いように思
ますが流通面において、地元卸さん
とメーカー間に、もうひとつ何かが
不足している感じが致しますね。

最近の小売市場

司会 ところで最近商品の売れゆ
き具合はどうなんでしょうか。

E 私の方のセットは割合に消化
が良かつたようですが、過去の良か
った時期に比べると、やはり市場は
冷えていきますね。しかし、極く最近
は幾分持ち直したようですね。

A 卸セールスさんの拡販機能で
さんの在庫管理が非常にシビヤーに
なってきました。例えば、一割の増
付だからと説明しても、いや、問屋
さんが毎日来てくれるので、その時
にどるからといった調子で話に乗っ
て来られないケースが増えました。

B それは言えますね。

今迄の九プラス一の割増セットと

高度成長時代の一昨年迄の、送り
付けでも良かった時代と、又、消費
者志向の変化などもあって、小売店
さんの仕入が確かに変わってきて
ます。

商品の回転を本位に考えられるよ
うになりました。しかし名古屋の小
売店さんは金は持つておられます
よ。

一例ですけど、店舗改装する場合
「東西の小売店さんは、自己資金の
七十%を出されるとすると、名古屋
は四十%を出資され、残り六十%は
余力を蓄えて置かれる」と言う具合
で、案外持っておられますよ。

全般的な売行は、やや悪いと思
いますけどね。

それから卸さんでは、小売店の上
位ランクの売上げが低調な為、販売
目標に対して実績が相当ダウントして
るんじゃないかなア。中堅クラスの
売上げ増も期待出来ないし。

A 卸セールスさんの拡販機能で
すけど、特売セットもあると思いま
すが、キャンペーン的なもので自分
達に有利になるものは比較的よく拡
張され、〇〇キャンペーンとタイト
ルの付いたものは積極的に割合に成
功していると思いますね。

か単純セットでなくて、通常マージ
ンの外にキャンペーン経費のアルフ
レーが上積みされたのですね。

八月～九月のメーカー別キャンペ
ーンは、量的にも、すごく多いです
ね。中には、〇〇作戦と書いたボス
ターが何枚も張ってあつたり、グラ
フと、計数表が一杯ですね。

C それで売上はどうですか。
A 結局、目標ダウント分、又は、
伸長率の良くない製品を前述のよ
うなキャンペーンでカバーしながら、
相当無理を重ねておられるよう
ですね。

一般品が安いとか、二次卸で値を
切っているとか言われますが、一次
卸の店だって例外じゃないですね。
売上げをカバーする為に、叩いて、
叩いて、叩きまくられている一次卸
さんだってあるはずですよ。

C しかし、今は全般的に、チエ
ーン商品が伸びているんじやないで
すか。

A 今申し上げた地区では、伸び
ていないですよ。チエーンが伸びて
いるのは競争の激しい地区じゃない
ですか。それも価格問題があつて止
むを得ず押出されている形ですね。

司会 今、Aさんが言われたよう
に、メリットを付随させた販促キ
ャンペーンが必要であり、卸セールス
の方々にはくどい様だけど、商品の
必要性と家庭薬のPRをもつともつ
としなければなりませんね。

E 私共では、大体に於て一貫し

で、大衆薬の在庫を調整されるそ
うです。

その場合、家庭薬の商品在庫は殆
んど問題にならないんだそうです。
家庭薬は必要なものだし、利益も二
十五%から、三十%になると言つて
おられました。

何故、家庭薬の利益が高いのか伺
うと、一般品も含めて、殆んど全部
定価販売なさって居られるとのこ
とです。だから、分業が推進されて
行くと、全般的な売行きは鈍化する
が、家庭薬商品の必要性が現在より
もっと多く出てくるのではないか
と、感じましたが。

司会 今申し上げた地区では、伸び
ていないですよ。チエーンが伸びて
いるのは競争の激しい地区じゃない
ですか。それも価格問題があつて止
むを得ず押出されている形ですね。

司会 今、Aさんが言われたよう
に、メリットを付隨させた販促キ
ャンペーンが必要であり、卸セールス
の方々にはくどい様だけど、商品の
必要性と家庭薬のPRをもつともつ
としなければなりませんね。

た販売施策を打出していますが、しかし、時にはアレッ?、こんな事がと思うような初步的な問合せがあり、びっくりする場合がありますね。だから、まだまだ我々のP.R.が不足していることを痛感しますね。

D 卸セールスさんも忙しい事は分りますが、家庭薬の自社（卸）の利益ぐらいは知つてもらい度いですね。家庭薬も最近では利益のある商品が多くなりましたからね。卸さんは次から次への拡売に追われ、セールスの把握も充分出来てない様に感じます。その様な卸さんは、拡販品の残りも多いし、又、小売店さんにその連絡も不充分な為か返品も多い様です。

A 卸さんも大変忙しい為、社内教育に頭を痛めて居られるのじゃないですか。進歩的な話の場を社内で持ちたいと思つても、つい事故処理だけに追われるのが卸の現状じゃないですか。

B 卸さんの利益の問題ですけど、家庭薬系の卸で、量販店と多く取引しておられる店と、中堅クラスの小売店さんに販売ポイントを置かれる店とでは、内容的にも、利益の面でも少し違つていています。

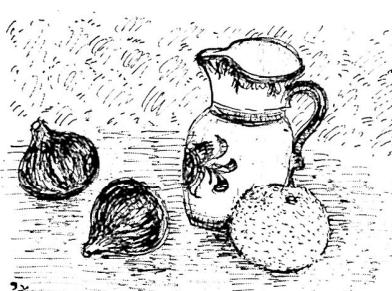
利益率だけ捕えると、後者の場合が

いいようですね。家庭薬の中にも、マージンの多い商品が最近増えており、更に拡販をお願いしたいですね。D 卸セールスさんも忙しい事は分りますが、家庭薬の自社（卸）の利益ぐらいは知つてもらい度いですね。家庭薬も最近では利益のある商品が多くなりましたからね。卸さんは次から次への拡販に追われ、セールスの把握も充分出来てない様に感じます。その様な卸さんは、拡販品の残りも多いし、又、小売店さんにその連絡も不充分な為か返品も多い様です。

A 卸さんも大変忙しい為、社内教育に頭を痛めて居られるのじゃないですか。進歩的な話の場を社内で持ちたいと思つても、つい事故処理だけに追われるのが卸の現状じゃないですか。

B 卸さんの利益の問題ですけど、家庭薬系の卸で、量販店と多く取引しておられる店と、中堅クラスの小売店さんに販売ポイントを置かれる店とでは、内容的にも、利益の面でも少し違つていています。

利益率だけ捕えると、後者の場合が



適配撤廃後の問題

司会 適配の撤廃後について、今後どのような展開になるでしょう。

A 東海地区では津市にコクミンさんが出店されましたよ。

B これから流れが変わってきますね。スーパーの薬品部が新設され

ますね。すでにダイエーが七十店。残りも全部設置されると見なけ

りますね。司会 卸マージン問題は、今まで良いとは言えませんね。価格改訂時とか、新発売の商品などで、少しずつ改善されているように見受けますね。

E 一部に、納入価格の見積りを出して欲しい、と卸からの依頼がありましたよ。しかし、まだ、そんな段階でもないし断りましたがね。それは、卸の各社が過敏に行動されまると、安定しているルートが混乱しますと、市場卸価格が乱れる懸念もありますね。

B 新薬系は、ルートも確立されていますけど、家庭薬の場合は、信用取引の上に立ってる訳でしょう。だから市場が混乱したら、卸も、メー

カーも、割が合わなくなりますよ。
司会 販売価格面はどうでしょうか。

C 価格問題は流通の明確化だと

思うんです。だから、いろいろな面から見てみると、地元卸さんが流通を受け持っていたらいいと思

A 昔の様な極端な乱売は来ない

と、私も思います。

E 関連する事ですが、某市に東京のナショナルストアが進出してきて、地元テナントを募集したんですね。出店されたS薬局さんから伺つたんですが、月々の売上目標から粗利

益を想定して、テナント料、薬剤師、店員さんの人件費、それに費用

で、調べはつくんですが、Aから、B、Cと言った具合にその都度変つてくると価格安定は出来なくなるん

です。

Cさんが言われたように流通を明確にして、徹底してやらなきゃなりませんね。

E だから、価格対策をやるなら動きの情報収集に注意して行かねばならないでしょうね。

司会 我々家庭薬メ

ricaも、卸さんと共に、そういう

設立して行きますよ。我々家庭薬メ

ricaも、卸さんと共に、そういう

等諸経費を算定すると、どうしても安売りが出来ないような計算になるんだそうです。従って値引も殆んどせずに販売していたら、本部の指導が出たんだそうです。スーパーの主旨に基づいて、少なくとも市場最低の販売価格に合わせようとな。頭を痛めながら調整しておられました。

C むしろ、問屋さんの御値が問題になつてくるんではないかなア。適配撤廃後、それぞれの卸店さんは将来の青写真を考えておられ、医薬分業になつたらどの様な営業展開に持つて行くべきか、適配撤廃後の大手スーパーに対する商取引、つまり、卸価格も含めて物流の形態がどうなるのかなどね。ここで問題になつてくるのは、家庭薬卸は家庭薬一本に絞つて行かれるのかどうか。新薬系卸では系列的にルート付けし易いし、家庭薬も含めて乗出されるのかどうか。こちらが今後、微妙になつてくると思うね。こんな事から、少し飛躍しすぎるかも知れないが、流通の再編成などと言う声も、出ないとも限らないと思いますね。

E だから、これから家庭薬が場合に依つては卸の目玉にされることもあり得るね。

C 問題は、地元の医専卸さん

が、前述の幾つかの点を踏まえて、家庭薬を扱う気になつて居られるのがどうかだね。扱う気であれば、最初は儲けが無いけれど、取引件数が増加すれば少しずつは利益も出てくる。勿論、販売金額はアップする訳ですね。その金額増分は、何処かが減少する算術になる。どの様にかかるわかりませんが、数年先には勢力分野が変わることもあり得る、との推論が成立ちますね。

B しかし、一次卸の商品と、二次卸とでは違うと思うんです。地元家庭薬卸と、家庭薬メーカーとは太いパイプで繋がつているし、いろいろの調整は出来ますよ。一概には言えないんじゃないかなア。一部には新薬系卸で家庭薬の取扱を望んでいるかも知れないけど。

C もし、東西からのパイプが無くて、家庭薬を是非扱うと言われる新薬系卸店があれば、地元同志の前向きな提携なども考えられるんではないでしょうか。医薬分業がはつきりしてくると、その兆候が出てくるような感じが致します。

司会 時間が参りましたので、此の辺で終らせて頂きます。有意義なお話しを、有難うございました。

(昭和50年9月18日取録)

司会 本日は東京家庭薬組合の広報誌「かていやく」から「家庭薬の流通における諸問題」というテーマで在福メーカー営業部員による座談会記事がほしいとのご依頼がございまして皆さんにお集まり頂いた訳でございます。

在福家庭薬メーカーの皆さんは福岡県だけでなく九州全県と沖縄県、さらに同一経済圏の山口県を合わせて管轄されておられる場合が多いようですので、その範囲でお話を頂きたいと思います。

福薬会の活動

司会 まず福薬会の成り立ちからお話し頂きたいと思いますが。

A たしか昭和三十年頃だったと思いますが、当時乱売が激しく、各県商組ともこの対策に追われていますが、メーカーも売ることよりも価格維持が先決となつておりました。

そんな時期に福岡県商組から、家庭薬も窓口メーカーを設け諸問題を解決するため協力してほしいという申入れがありまして家庭薬六社会が発足しました。

B 昭和四十五年五月、この六社会をさらに発展させるため加盟メーカー十六社で福岡家庭薬会（略称福

薬会)として新発足し、現在二十社で業界の発展に努力しています。

C 本年二月に福岡県薬業団体連

合会(略称福薬連)が設立されまして、医薬品関連業者すべての団体が加入し、県薬務課の指導によって委員会を開き、中央情報、厚生省よりの通達等を適確に示達されています。

この会へ福薬会からも理事二名、監事一名が選出されておりまして活躍頂いております。

D 各県で開催されています商組の協議会にも家庭薬代表として数社が参加して、協議結果を福薬会へ報告して問題を処理して頂いております。

E この協議会の他に、九州の主要都市には量販店を中心とした懇談会が県商組と一緒に設立されており、業界の変化に対応した安定市場を保持することが、国民の健康に寄与することとして毎月懇談されています。

F 福薬会もこの懇談会に委員数社が常時出席して協力しております。また、大きなブロック会として、九州山口三者懇談会があり、必要時開催され大いに研修されています。この会では、ブロックとしてな

すべきことが協議されますので、福薬会としては代表ではなく各メーカーにできるだけ出席して頂くようにしております。

小売商組との協調

司会 最近の九州地区の流通問題についてはいかがでしょうか。

F 従来の流通問題は何だかすべてメーカーの責任だという見方が強く、実際にはメーカーで処理する問題とは思えないようなこともあります。

D 各県で開催されています商組の協議会にも家庭薬代表として数社が参加して、協議結果を福薬会へ報告して問題を処理して頂いております。

E この協議会の他に、九州の主要都市には量販店を中心とした懇談会が県商組と一緒に設立されており、業界の変化に対応した安定市場を保持することが、国民の健康に寄与することとして毎月懇談されています。



新幹線開通と九州薬業市場

司会 新幹線の博多乗り入れ、ある

H まったくこの会は熊本県の全店から感謝され、商組のご協力の絶大さも加わり、全国的にもよく話題にされていますね。

G 東京、大阪からの情報が早くいは一部を除いての高速道路の開通によって中央との距離が近くなります。また、大きなブロック会として、九州山口三者懇談会があり、必要時開催され大いに研修されています。この会では、ブロックとしてな

べきことが協議されますので、福薬会としては代表ではなく各メーカーにできるだけ出席して頂くようにしております。

C 殊に広域スーパー、量販店、(チャーチ店)等の中央指示は同一条件であり、九州だから云々はできず、中央と共に広域対策となります。

E その通りですが、最近困ったことは、適配撤廃後に新規開店も多くなり、地元の状況あるいは薬品販売に対する知識不足から一時的ながら混乱を起していますね。商組、卸、メーカーの努力によって幸いです。

A すべてが本部の指示のため、対策も本部へということになりますね。

H 特売セット販売等はメーカーにより地区毎に実施されるケースが多いですが、東阪に出されたその翌日には九州の特定店に流入していることもありますね、交通が便利になつた悪影響でしょう。

F 逆のケースもありますね。むしろこの逆のケースが最近目立っています。九州の製品が本土へ流れれる訳ですが、この対策には全力をつくしています。

D だいたい九州を福岡県とか長崎県、鹿児島県と七県にも分けていますが、その影響はいかがですか。G 東京、大阪からの情報が早く伝わってきます。以前は「そのうち九州にも伝わるだろう」とか、「大

かないことになるんじゃないですか。

まったく同感です。高速道路ですと隣県まででも一時間あれば余る位でしあう。九州各県が全部結ばれるようになれば、時間は問題にされなくなりますし、荷物の動きはどうなるかと考えてみただけでも、まだ九州では狭まいんじゃないですか。

A これらのことを見て九州を先取りしたのが大手スーパーなり、大企業ですね。九州各县に必ず数店はこの大手が進出してきて地元業者をふるえあがらせています。しかも現在新築中や、進出予定が相次いでいますから、九州経済圏と本土との交流は今後ますます激しくなるでしょうし、短縮されますね。

B しかし高度経済成長が続いた時代にはそれなりに成長を続けてまいりましたが今日の様に低成長時代ではとても併立できませんね。今後はやはり、縮少せざるを得ない感じないですかな。

適配撤廃と乱売問題

司会 適配撤廃後の状況はどうですか。

E 例えばスーパーなどで、これまで薬品部の開設が距離制限があつ

てできなかつた店は、相次いで申請して許可をとり、業界に大きな問題を投げかけましたが、現在のところは心配されたような混乱はありませんね。

C 不況のためお互いが売上不振となり経営のため利潤追及がきびしくなつて、公正な競争による自店繁栄の策で精一杯じゃないんですか。

それからチラシの自粛や業界のための行政指導の在り方等も協議されています。

H すでに長い間、販売姿勢について業者の皆さんに尊い経験を積んでいますから、適配が撤廃になっても極端な乱売をする時代ではありませんね。自主的な話し合いによってお互いの姿勢を正すべきでしょう。

F スーパーなどの新たな進出で客足が多くなり、在来の小売店の売上が増加したという店もありますから、うまく客足をとらえることができればかえってプラスとなります

G 九州、沖縄とともに家庭薬専業御がありませんから、新薬の取扱いが多く、どうしても家庭薬を軽視する傾向がみられますね。勿論、利幅が薄いためもあるんでしょうが、小売店への売り込みも力が入らない御もあるようですね。それを幾つかでも補うためメーカーのプロパーが活発に受注活動をして御さんへ廻していますが、直販でない我々はやはり力不足ですね。

E 家庭薬はどうなるのか、売上はどうなるのか、との不安は、卸、小売共に関心がありますが、見解の相違で卸によっては薬専部を縮少されるところもありますし、また逆に拡大されているところもあるようですね。

D 永い伝統と軽医療に自から選んで使える家庭薬で自己治療をする

どの様にお考えでしょうか。

B 最近本州への流れを確認したので、その卸へ出荷制限をしましたところその翌日には大量の品が近畿から流れ込んできましてね、何のため制限したのかと残念でなりました。

G 一方チエーン品も伸びていままで、その卸へ出荷制限をしましたところその翌日には大量の品が近畿から流れ込んできましてね、何のため制限したのかと残念でなりました。

H 老人や乳幼児の医療無料化による影響は我々には大きいですね。

H 老人や乳幼児の医療無料化による影響は我々には大きいですね。

A 一方チエーン品にはまたその良さがありますし、家庭薬もご承知の通り独特の良さがありますからね。

B 日本の大手企業がほとんど九州に進出しているので、地元企業は深刻ですね、特に沖縄の様に地元に大企業も無いところは一層深刻ですね。

F 九州をずっと見ましても北九州の工業はすべて悪化していますし、西九州は長崎、佐世保の造船が不況です。東九州は新日鉄以下進出した企業がことごとく不況ですし、南九州は農村地帯の不況でデパート大手スーパーの閉鎖がすでに現われて

ことを好んできた日本人でありますし、また日本の気候、食習慣、体质等から考えて、最も適した今日の家庭薬が有効でしかも安全性が高いことを認められてきたため、これが減ずることはないと確信された方が非常に多くなってきましたね。

A 一方チエーン品も伸びていままで、その卸へ出荷制限をしましたところその翌日には大量の品が近畿から流れ込んできましてね、何のため制限したのかと残念でなりました。

H 老人や乳幼児の医療無料化による影響は我々には大きいですね。

H 老人や乳幼児の医療無料化による影響は我々には大きいですね。

A 一方チエーン品にはまたその良さがありますし、家庭薬もご承知の通り独特の良さがありますからね。

B 日本の大手企業がほとんど九州に進出しているので、地元企業は深刻ですね、特に沖縄の様に地元に大企業も無いところは一層深刻ですね。

単品では成立しなくなっています。

やはり品ぞろえすることが今後の

課題でしょうね。

A 九州の卸再編成があるので、ないでしょか。他地区に比べてまだ卸の数が多いように思われます。

ね。我々もこの不況を乗り切るために大いに頑張るつもりです。

司会 本日はお忙しいところ長時間にわたりありがとうございました。

△編集部追録▽

以上収録分のほか多くの有益なお話をございましたが、紙面の都合でやむなく割愛させて頂きました。

このシリーズも今回をもって終了

させて頂きますが、一年の第一回から今まで、時間的なズレや大きな出来事はありました。家庭薬の流通における問題点はいすこも共通しているように思われます。

大衆薬の地盤沈下をくいとめたために、皆様のなお一層のご活躍を期待いたしております。

終りに、ご多忙のところを参考頂きました皆様に紙上ではございますが心より厚く御礼申し上げます。

薬とともに

(その十五)

松田金之助

戦後も一応落着き、いわゆる昭和元禄の始まりともいいますか薬業界

も華かな時代の開幕でもあります

た。三共会、タケダ会、ペニシリ

明治会、チヨコラ会、オロナイン会

等々と枚挙に暇がない会の乱立に、

卸店の社長連は宴会をかけ廻るのに追われる有様がありました。

さて頂きますが、一年の第一回

から今まで、時間的なズレや大き

な出来事はありました。家庭薬の

流通における問題点はいすこも共通

しているように思われます。

大衆薬の地盤沈下をくいとめたた

めに、皆様のなお一層のご活躍を期

待いたしております。

終りに、ご多忙のところを参考

頂きました皆様に紙上ではござい

ますが心より厚く御礼申し上げま

すが私は案外平氣でした。

さて、戦中戦後の物資不足も解消された昭和三十三年頃には、巷に商品が溢れる結果となり、戦後に乱立して、大阪平野町の乱売事件が名古屋に移り、名古屋の経営者松岡氏が

頭してきました。その典型的な例として、大阪平野町の乱売事件が名古

屋に移り、名古屋の経営者松岡氏が東上して、池袋に三共薬品の名で出

店、大巾な値引断行を行ない店頭に

は一流メーカーの花輪をズラリと並

らべ、開店前より店頭市をなす有様

でした。

折も折、卸協の規約に反して大木製薬(現㈱大木)が都の共済会に

納入した事實を墨東地区的業者が知

り、同社に対し支払をボイコット

するという事態となりました。

当時の卸協理事長を務めていた同

社々長大木卓氏は、責任を感じて理

日頃思つたことはすぐ口に出す私

もメーカーにはいいにくこともあ

り、それを人形に託していつてみる

ものの強くひびかず最後には自社製

品「ノボピン」の宣伝という趣味と

実益を兼ねたものとなり一人で得意

になっていたものでした。

結構いろいろと批判もあった様で

事長職を突然辞任されることとな

り、この非常事態に時の事務長小室長久氏も大変困られたようです。

空いた理事長の席を引受けた人がなく、再三詰合いを行って、全理事長久氏も大変困られたようです。

を対象に総選挙で決定の運びとなりました。

その結果、理事長として不肖私、

松田金之助、副理事長として今は故

人となれた福神彰氏にそのお鉢がまわってきてしまい、この難局を処理するのは並大抵ではないと充分承知しながら、寅年生れの強引さで、押し切り乗り切る決心で取組んだの

であります。

池袋に店舗された三共薬品は經營者が韓国の方で名古屋で実績を上げ

た余勢を駆って名古屋方式商法を東京に持ち込んだもので、この東京の話題はたちまち近県にひびき近県からも続々買出しに来る始末となりました。

都内の小売店さんも目玉商品を買

いあさりに来ると云う全く手のつけ

ようもない有様でした。時の都の薬務部長山崎友久先生並に厚生省の高

田薬務局長殿よりも何とか一日も早く善処する様申し出やら呼び出しがありその内に国会でも此の件を取り上げられ参院社会労働委員会が池袋

迄出張して実地視察されるという一
幕もありました。

しかし地元池袋の小売業者は全く
お手あげとなり、小売団体より卸協
組に対し協力方の強い申し入れがあ
り、折しも不肖私は日本卸連の会長
を兼ねていた関係もありましたので
東薬工並びに製薬連、家庭薬協組等
とも相談の上連日連夜会議を重ね
た結果一応名古屋に出かけて松岡正
勝氏と話合いをしてみようというこ
ととなりました。

ドラングマガジン社主筆の安藤氏
の水先案内で、小売連より高村会

長、卸より不肖松田が名古屋市のサ
カエホテルに於て話合いを始めま
した。

開口一番当の松岡氏いわく安売が
なぜ悪いのか？薬剤師諸兄の調剤の
邪魔になることはしていない。

出来ている薬を売るわけである。

あなた方薬剤師は、自分で作って売
ればよいのである。研究して一日一
回食べれば三日間も何も食べないで
生きていられる様な薬でも作つたら
どうか。というような理屈にもなら
ない理屈で到底話合いにはなりま
せん。



当時の週刊誌から

むしろ池袋の他、東京都内に五、
六箇所店を作るという強腰で藪をつ
いてまいりました。その後地元の強い
意見で、対抗乱売店を三共薬品の筋
に向いに出店することに決定しまし
た。

時は昭和三十四年二月七日、その
名を三共薬品と名づけて乱売の火蓋
は切つておとされたわけです。

商品の供給は当時の地元卸の桜井
薬品と林薬品が窓口となり卸協の話
合いで大和薬品、酒井商店、マル金
商店が協力するということで商品は

続々供給され店頭の仕事は地元の方
々がそれにあたるという体制を整え
て値引競争は日一日とエスカレート
して行きました。

薬九層倍は昔の夢、薬九割引とい
う血の出し合いで戦いは、いよい
よ泥沼の様相となり、何とかして此
の戦いに終止符をつけなくてはと地
元の意見で三共薬品を買い取る交渉
が始められました。

商品は地元組合が買い取り、店舗
を二千五百万円で買い取ることにな
ったわけです。

何せ当時の二千五百万円は大金で
あり、いかにしてこの金を作るかで
これ又連日連夜の会議となりまし

た。その結果、三共薬品で乱売した
メーカーの銘柄品の売上順に協力し
てもらうこととなりその時の売上一
位は中外のグロンサン、二位が武田
組、卸協組、家庭薬協組等の御力
を得ても尚もない為大和薬品、酒
井商事が手形を書いて豊島信用金庫
で割引してもらつたのですが、それ
でも二千二百五十万円にしか達せず
小売連の高村三郎会長が頭を下げて
二百五十万円をまけてもらつて結着
をつけることになりました。

当時お互にやせる程苦しんだ高
村氏は現在八十二才の高令で尚ご健
在でおられます。こんな方にこそ
勲章をさし上げてほしいものです。
後で知つたことですが当時東京卸並
びに日本卸連の会長を勤めて居た松
田を消せば六十万円と云う首代がつ
いて居たとかで、今振り返つてみて
も全く身の毛のよだつ思いをしたも
のです。東京中の小売店をふるえ上
らせた名古屋の松岡氏も最近は經營
の行詰りから閉店のやむなきに至つ
た話を聞き時代の推移を知らされ、
同時に人ごとでなく常に共存共榮の
きずなの大切である事を痛感して止
みません。

海軍病院船

氷川丸

喜谷市郎右衛門

氷川丸は戦前日本郵船のシートル航路の貨客船であったが、現在、横浜港のマリン・タワーの下、山下公園の岸壁に横づけにされ、一般に公開されているので、ご覧になつた方もあると思うが、この船が戦時中は海軍に徴用されて、病院船に改装され、白亜の船体と煙突に赤十字のマークをつけ、南太平洋上を東西に奔走し、第一線の傷病兵の収容、治療、輸送に活躍をしていたことを知る方は少いことと思われる。

大東亜戦争が勃発して間もなく、私は海軍薬剤大尉、調剤科長として病院船氷川丸に乗組を命ぜられ、一年余り勤務をしたことがある。その航路は横須賀を基地として、主としてトランク島を経由してラバウルへ、そして横須賀に帰るというものであったが、ガダルカナルの攻

防戦が激しくなるにつれ、ソロモン群島の北端ブーゲンビル島ブインにまで進出したものである。

本年は戦後三十年、氷川丸に乗組んでいた時からはそれ以上になる。

当時の青年士官や紅顔の水兵さん

達も皆今では五十の坂を大分過ぎていい親父さんになっており、子供も一人前に成長し、人によっては孫もいるという具合で、昔懐かしい戦友に会つて昔を語りたいという連中がふえて来た。そこで、自ら幹事役を買って出て呉れた人達が出来て、そのお陰で今から二年前の夏「海軍病院船氷川丸の集い」なる会が発足し先づ横浜の氷川丸に集まつた。

三十年振りのこととて幹事さん達の努力にも拘らず、充分に住所等消息をつきとめることができず、集まつた者は二十一人であつたが本当に懐かしさあふれる楽しい会であつた。

それから二年、この九月七日、第二回目の会合が湯河原のホテルで開かれた。今回の参加者は二十六名で前回をやや上廻る程度であったが、海軍側だけでなく、日本郵船の乗組の方や、終戦後復員船として活躍した時代の乗組の方も参加された。

戦争が始まった頃、海軍には一万

屯級の大型病院船が三隻あった。すなわち、朝日丸、氷川丸、高砂丸で、そのうち一番の先輩の朝日丸は佐世保に属し、すでに大東亜戦争の始まる前、支那事変当时から活躍をしていた。

高砂丸は台湾航路の客船であったが、大東亜戦争が始まると共に氷川丸と前後して病院船となり、氷川丸は横須賀に高砂丸は呉に所属し、皆連合艦隊司令長官の命を受けて行動した。

なおこれら病院船の主な任務は、前線における傷病患者の収容並に治療、更に内地への輸送、医療品の補給等であるが、当時新聞などで報道された戦闘員や兵器弾薬の輸送は海军では絶対にやらなかつた。

海軍病院船は看護婦はのせていないが、病院船なら安全と言ふの事も當時としては銃後の方々には申しえかない位良いものであつたので、トランク島やラバウルに入港すると、近くにいる部隊の同期の軍医達が仕事にかこつけて昼食を食いにやって来たものである。

線海軍病院へ転勤する看護婦や女性を含む芸人の慰問団を使乗させたことはあった。

さて、氷川丸が海軍に徴用されたことは前に述べたが、これは船体だけを徴用したのではなく、郵船の職員ごと海軍が借り上げたもので、従つて、郵船側の船長、運転士、機関

一イ、司厨長からユックまでが乗っており、船の運航に関しては海軍の指示に従つて郵船側の人達がやり、生兵に至る海軍側の人達が行うことになつていた。

私は士官の身の廻りの世話は、一食ということになつて、

すなわち、士官の待遇は一等船員並みで、部屋も個室が与えられ、食事も当時としては銃後の方々には申し訳けない位良いものであつたので、トランク島やラバウルに入港すると、近くにいる部隊の同期の軍医達が仕事にかこつけて昼食を食いにやって来たものである。

そういうわけでも、海軍と郵船との共同生活であつたが、同じ海の男同志ではあり、海軍と言つても軍医官、薬剤官、主計官およびそれらの教育を受けた衛生下士官兵が大部分であつたから、船側としては多少の不平不満はあつたようだが、比較的摩擦も起らず、うまく行つていたと思う。

そして、今回の会合には郵船側の方達もなつかしさ一杯で参加されることになった。

当日の集合は午後四時半、六時から懇親会が始められた。

当時の外科長G軍医少佐は現在横浜で開業されているが、当日の最長老として先づ挨拶され、終つて型通り乾杯、宴に入つた。宴の進むにつれ、全員が一人一人立つて、海軍の勤務略歴、当時の思い出、戦後から現在に至る動静等を自己紹介した。

皆の話を聞いているうち、あんな事もあつたなあ、あの先任下士官や、あの兵隊は今どうしているだろうなど色々の感慨が頭に浮んで来る。

九時頃宴は一応終りとなつたが、その後、三々五々夫々の部屋にもどり、更に深更まで思い出話は尽きなかつた。

私が氷川丸に着任したのは昭和十七年四月十三日、氷川丸は横浜ドックに入渠修理中であった。そして間もなくその十八日に米国空母からのドゥリットル隊のB25による東京空襲があり、横浜にも敵機が侵入して來た。

氷川丸の甲板から見ていると、直ぐ目の前の上空を敵機が飛び来り、

飛び去り、これに對して停泊中の周囲の艦船から高角砲や機銃が激しい銃声と共に火を噴いた。そして、戦

争も深刻さを加え、俺もいよいよ戦地に行くのだぞという歎しさを感じたのであった。

四月二十五日に横須賀を出港、自分としては第一回の氷川丸による航海が始まつた。この時の寄港地はト

ラック、ラバウル、クイーンカロラ（デカ島）そして再びトラックを経て横須賀に帰つたのが五月二「十三日、すなわち約一ヶ月の航海であつたが、この時ははじめて見たラバウル、その湾口にある火山、花吹山（灰吹山をもじつてつけられた）の噴火の景観などは忘れられない。

次の横須賀出港は六月十三日、この時はミッドウェー海戦における負傷者の収容、輸送を命ぜられ、その島であった。

蒼龍等の負傷者約四四〇名を収容したが、その午後早速に連合艦隊山本司令長官の患者見舞があり、翌十六日朝吳に入港して一部の患者を呉海軍病院に送り、次いで十八日には横須賀に帰投、残りの患者を横須賀海軍病院に送つた。

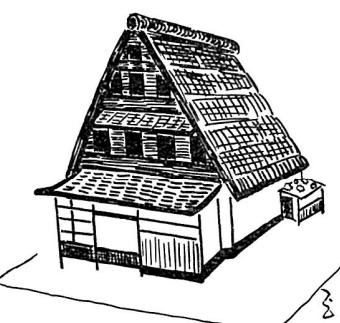
この海戦のニュースが発表されたのが六月十日で、氷川丸の横須賀出港は十三日早朝であつたから、海戦が行われてから病院船の活動開始は

一週間になる。随分時間が経つてからと考えるが、前線からの患者の到達時刻に合わせての行動で、翌十四日夕刻柱島に到着すると、僚船高砂丸は先着しており、本船と前後して連合艦隊主力も入港して來た。そして翌十五日早朝から全力をあげて負傷者の収容を行つた。

戦艦陸奥、榛名、霧島等から、海戦で敵機の攻撃を受けた空母赤城、

ダルカナルの撤収作戦が行わされてからは遠くブーゲンビル島ブインにまで足をのばしたが、この時は一回に千人以上の患者を収容し、その大部分が、手足が鶴の足のようにやせ細った栄養失調症患者とマラリヤ患者であったことも忘れられないことの一つである。

私の在船した一年間に都合十一回の航海をしたが、その中ただ一回、六月末から八月中旬まで一ヶ月半の期間で、當時我々が都廻りと称して熱望していた、ダバオ（フィリピン）、メナド（セレベス）、ケンダリ（ボルネオ）、アンボン（モルッカ諸島）、クーパン（チモール）、マカッサル（セレベス）、バリックパパン（ボルネオ）、スラバヤ（ジャワ）昭南（シンガポール）、サイゴン、マニラ、馬公、佐世保、呉の順で廻航した南西方面への航海があり、この航海は見聞を広めるのに大いに役立ち、海軍に入つてよかつたとつくづく思った。



時に敵機の空襲下にさらされ、時には敵潜水艦にねらわれたこともあつたが、幸に何の事故にもあわず一年余を無事に過ごした。

必ずしも、楽しいことばかりではないが、三十年後の今日戦友と再びめぐり会えて話をすると、苦しかった事までがなつかしい思い出となって来る。

戦後多くの戦記が出版されているが、海軍病院船については面白い戦闘の場面はないので記事にならないせいか伝えているものは殆んどないようである。

たまたま、最近、氷川丸の集いが行われたので、この機会に思い出の一端を記してみた。

WFPMMに 何を望まれますか

WFPM
事 津 村 重 孝

「リタイヤーしたらカナダのバンクーバーのような所に住みたいな」と言つたら四年も住んでいた息子に

「旅行者が見る程良い事づくめではないよ」と一蹴されてしまいました。

たのだと改めて感心した訳です。

WFPMの会議は昨年と同じくエスト・バージニア州のグリーンブ

リヤーで開かれました。今回はオーヴィングしましたが、行くたびに数多くの珍しい事を見つけるのですから、きざに聞こえるかも知れませんが、言つてみればまだ外國の事など判っていないと言つた方がいいのではないかと反省しています。

WFPMの会議その他の見聞を報告するにあたり、まあそんな点もあるのだと言う事を前提としてお読み頂ければ幸いです。

さて今年も理事会出席のため五月にアメリカに行き、ついで八月に長期計画委員会が開かれたので欧州に行つて来ました。理事会にはもう一人理事であられるエーライ内藤社長同社長室松岡女史、秘書鈴木君との四人でした。ニューヨークで落ち合ふ事にして一人で羽田を出発しましたが、事故で通行止めになつたりして時間ギリギリにチェックインしました。機内は思つたよりすいていて何事もなくサンフランシスコに着きました。

一步空港に足をふみ入れるとTOWERの表示板に「男」「女」という日本字が書かれてありました。それだけ日本人の旅行者がふえて来

① 一九七一年に一九名であったスタッフがわずか四年しかたつてない一九七五年には三八名になりました。

WFPMの会議は昨年と同じくエスト・バージニア州のグリーンブ

リヤーで開かれました。今回はオーヴィングしましたが、行くたびに数多くの珍しい事を見つけるのですから、きざに聞こえるかも知れませんが、言つてみればまだ外國の事など判っていないと言つた方がいいのではないかと反省しています。

ここではアメリカ大衆薬協会の年次大会も開かれており、同会は今回で第九回であるという程長い歴史をもつた協会です。詳しく調べた訳ではありませんが、このように長く続いている間に立派に発展した理由は業界に起つたいろいろな難問を解決する為に団結した総会であるからだと思います。このような事件に会うたびにまずそれを自らの力で乗り越えようと言う意志をもち、且つ必要な経済的議性をおしまなかつたに違いないと信じます。

現在はCOPE会長を中心として一〇の委員会を持ち、正会員（メーラー）八〇社余、賛助会員（媒体、その他）六〇社余を数え、益々発展し続けています。その発展ぶりを今

回の大会におけるCOPE会長の現況説明の概要を引用しておきましょ

りした訳ではありませんが、協会のこのような活発な運動の影響だと思

われる一つの動きがあります。これは帰国してから得た情報ですが、FDAの医薬品の有効性・安全性の利点に対する態度に大きな変化が表われて来たと言う事です。即ち科学的証明——特に二重盲検法——を大変重視してそれのないものは医薬品としては認めないと今迄の方針を変更して「経験的証明」を条件付きではあるが認めようと言うのです。

即ち順に、二重盲検法・単純盲検法・動物実験・文献を重視するが、それらの証明のないものについては、承認されうるような正確なものであれば人類的経験を認めるように規定を変更しようと言う提案がありました。

人類的経験とは例えば「数年間発売しているが特に激しい副作用の報告は受理していない。といった事を安全性の一つの証拠として承認しようとと言う訳です。勿論これはまだ提案があつただけで決定したわけではないので果たしてどうなるかは予断を許しませんが、それにしても大いに注目すべき事柄だと思います。

① 次回の理事会は七六年二月四日

ンドンで開く。

② 年次大会は七七年三・五月頃にジュネーブで開く。

③ ニュージーランドが加盟し、コロンビア・ベネズエラ・アルゼンチン・インドネシア等が加盟の見込みである。

④ やりたい行事は沢山あるが会費の増額が見込めないのであまり拡大しない事とする。

⑤ 経費の自然増はなるべく新しい加盟国との会費でまかなうようにする必要があるので特に新会員増強を計る。

⑥ WHOのNGO指定を得るため努力する。

以上の事項を決めて散会しました。

帰国の途中、アメリカの大学病院の医師である友人のご子息を訪ねる

為にソルトレイクンティーに行きました。ここでも地方便の減便にたたられ、朝七時前に出発したのに同市についたのは夕方五時をまわっていました。

堀銅山もこの宗派の所有と聞きました。ここにはモルモン教の本山があります。モルモン教はキリスト教の一宗派で、他の宗派を強く排斥する事と大変な金持ちである点で有名ですが、もう一つ数代前の教祖までは一

夫多妻を認めていたと言う事で一般的のアメリカ人には兎角の議論を呼んでいるようです。

冬はスキーのメッカとまで言わ

モルモン教の経済力の大きさは一寸想像がつきにくいと思いますので二、三の例をあげますと、まずユタ州（ソルトレイクシティは州都）の経済の八〇%位を握っているそう

で、一番大きなホテルと百貨店は勿論のこと、郊外にある世界一の露天

州（ソルトレイクシティは州都）の経済の八〇%位を握っているそう

がユタ州はアメリカに犯罪が少ない州だと聞かされて、今更のように

拡大しない事とする。

以上の事項を決めて散会しました。



堀銅山もこの宗派の所有と聞きました。ここでも地方便の減便にたたられ、朝七時前に出発したのに同市についたのは夕方五時をまわっていました。

従つてユタ州で会社を経営するのならモルモン教徒にならないとやりにくくと言われています。又モルモン教は禁酒・禁煙はもとより、コーヒー・紅茶も飲まないと言う厳しい戒律を守っていますので、最大のそ

用の慣習がないので不況になるとすぐに首切りを実行して企業を守ります。このような慣習は一般労働者に測り知れない不安を与えてるのであって、これが酒・麻薬常用者を生み出すのだと思う」と主張しています。

りません。おかげでお客様をお招きして面喰ったのでした。

冬はスキーのメッカとまで言わ

る数多くのスキー場が近郊に点在している事もあって、観光客も沢山やつて来る訳ですので、これは少々行きすぎではないかとも思ったのですがユタ州はアメリカに犯罪が少ない州だと聞かされて、今更のように

宗教の力を見直した訳です。このような事だけから早計に酒と犯罪との因果関係を結論づける事は出来ないかも知れませんが、アメリカには酒・麻薬の常用者が多く且つ犯罪が多発している事を見すごす

事にはいかないと思います。この問題はアメリカでは非常に大きな関心を持たれているものであって、ここ数年訪ねた大衆薬協会の集会ではいつも議題の一つに取り上げられており、大衆薬との関連性の有無が議論されていました。

私の訪ねた若い日本人の医師は、「アメリカでは日本のように終身雇用の慣習がないので不況になるとすぐに首切りを実行して企業を守ります。このような慣習は一般労働者に測り知れない不安を与えてるのであって、これが酒・麻薬常用者を生み出すのだと思う」と主張していま

した。

日本では最近終身雇用制・年功序列等についてこれを廃止すべきであると言った意見を聞きますが、この医師の意見も十分参考にするべきだと思いました。

ソルトレイクシティをとび立つとすぐ近郊から砂漠地帯になり塩分で真白に塗りされたグレート・ソルトレイクが目の下に見えます。

そのような言わば別天地であるソルトレイクシティとモルモン教の存在などを想い起こしてつくづくアメリカは広い国だと思いました。

前にも述べた通り八月には欧洲にかけました。最初についたパリでは数人いる日本人の友人がほとんど長期休暇をとって不在でした。日本では都会でやっと週休二日制が定着しましたが、はじめたばかりなのにそれでも休日が多すぎると思われる位な

のと比べるとここは全く一年の半分は休みだと言つてもいいようですし、それを当然のことと考えているよう思えます。いや多分人生を楽しむためにやむなく働くのだと言つた考え方かもしれません。

その一つの現われと思われるのでボン（PONT）と言って金曜日は

休むのです。せっかく週末の休みを楽しもうとしているのにわざわざ金曜日だけ一日出で働く事はないさ、

「パスポートを持ってていますか」と聞かれたので持っていると言つたところでしょうか。もしこ

のあえてこの話を書いて皆様のご参考に供する次第です。

「これから自宅に来ないか、妻の観察が間違いだつたらお許し頂くことにして、夏休みとして一ヶ月以上の休みをとるのが普通であります。

訪ねる相手が不在で面喰う事があります。

パリで一泊してジュネーブに行つた処までここで市の祭日にぶつかりました。わずか二泊しか予定にとつてなかつたので一寸忙しかつたのですが、お目にかかる方がWHOにつ

とめておられ、WHOは国際連合の下部組織であるため市の祭日は休まないと言うので夕刻事務所でお目にかかる事が出来ました。

ロンドンに到着したのは土曜日の昼近くでした。出発の時預けた荷物を待つていたのですが、とうとう出

て来ません。早速係の人によいたら届けてもらうようにお願ひしてとりあえずホテルに入ったのでしたがと

医師による医療と併行して一般薬の活用を図るべきだと言う意見をもつてゐると言ふ我々にとっては力強い

発言がありました。特に生薬には深い関心を示され、そのためには日本は主導的になつて大いに活躍し、生薬を通じて開発途上国の医薬品の発展に寄与してもらいたいと力説してお

らされました。

「パスポートを持っていますか」と聞かれたので持っていると言つた

と聞かれたので持っていると言つた。妻はフランス人だが日本語も話すし、夕食を差し上げたい」と言われ車に乗せて頂きました。飛行場の真下を

流な建物のテラスで、マグロの刺身やイワシの塩焼、味噌汁等々、全くの日本料理を頂き、奥様のお料理の腕と、たくみに日本語にしばしスイ

スイやフランスに居るのを忘れてしまいました。

またWHOのNGO問題に関連していろいろ討論されました。WHOの理事には東側の人達もかなり多く、医薬品企業に対する批判的な意見も多く且つ一般的に医薬品企業及び医薬品の本質について充分理解していよいよ思われる所以、この

点についてはそれぞれに働きかけて理解を得るよう努力する事になりました。

最近国際連合において開発途上国グループの数の上で粗暴が問題になりつつあります。とは言つても全く無視する事も出来ません。吾々もその下部組織であるWHOに近づき、正しい認識をもつてもらよう

へのものも困ったのですがそれよりも月曜日の会議に必要な書類が全部その荷物の中に入っていたからです。幸い翌日曜日の夕刻手に入つて

ひと安心したのですが最近荷物の送り違いが多いと言う話を聞きました

が、医薬品企業にとって致命的な勧告などが決議されるおそれもあり

ますので、この点充分ご認識頂きた
いと思います。

今回の委員会では年次大会の時期と場所が変更されまして、七七年一月四月ロンドンで開く事となりました。日本からも是非多数の参加を希望しておりますが、特に厚生省の方の出席を切望し、日程は都合の良いように定めるから帰国したらすぐ知らせてほしいとの事でした。議題は来年二月の理事会で決定するのですが、出来る限り数々の意見を反映させたいと考えておりますので是非皆様方のご意見をお聞かせ頂きたいと思っています。

帰りにまたパリによりモスクワ経由で帰国したのですが、新しいドゴール空港の売場を見て面白いたことに気がつきました。それはブドー酒は免税売場においてなく、普通の食料品、即ちチーズ、ヨコレー等と一緒に並べられているのです。聞いてみましたが「ブドー酒は酒でないから酒税がなく、従つて免税店はないのだ」と言う事でした。フランスでは確かにブドー酒は酒として取扱われないので、羽田の税関ではお酒と見なされますので愛酒家の皆様はどうぞおまちがいのないようにお願い致します。以上

最近の国会報告

参議院議員 森下仁丹社長 森下泰

「家庭薬」の皆様には、その後ご無沙汰をいたし申し訳なく存じております。

その都度国会報告をいたしたく思ひながら、新聞にてもご覧の通り本臨時国会は文字通り「開店休業」状態にて申し上げようもないまま推移してゆく次第であります。従いまして、今回は内容ではなく、その状況について一つだけお話をさせていただきたいと思います。

それは、民主主義代議員制度そのものを否定する考え方、例えば一党独裁主義の共産党や、教祖絶対主義の宗教党等を代議員制度の中へ入れること自体が根本的な誤ちであると申します。相撲の土俵へキックボクシングの選手をあげたらどうなるでしょうか? 力士の方はどうあります。当然に相撲のルールで試合をしようとするでしようし、キックボクシング



森下泰

グのボクサーの方はこれまた当然ながら殴る蹴とばすなんでもよしのやり方で挑んでくることでしょう。結果は明らかに如く、なんでもよしのキックボクシングの方が勝つに決っています。

現在の日本の国会は、まさにその通りのことが進行しております。ご存知の通り、米国や英國、西獨では共産党国会議員といふものは現実に存在しておりません。なぜ存在しないのか、その理由については別の機会に申し述べたいと思いますが、日本

の国会だけが、全くバカげた異常な状態になっているのであります。

この現実を認識しないで末梢の問題、例えば独禁法、医療制度、薬事法等をいくら議論しても何程の効果もないと思われます。従つて今さらねばならぬことは唯一つ民主主義代議員制度を本当の意味で確立することです。そして具体的には、その制度をよしとする人々が国会において圧倒的多数を制し、憲法以下諸法律を

私個人のことを離れて申し上げますが、もっと具体的には、参議院議席数の改善、自民党の圧倒的優勢の実現が、今我々が何をさておいてもなさねばならぬ、最も重要な課題であります。卒直に申し上げて、現在の自民党内部はこのことに関して認識が十分とは思われません。唯一の方法は自由経済、民主主義を望ましいと考えられる一般の方々、とくにお力ある経済界の方々がこの際大きく前に出ていただくことになります。

不況対策その他すべて、五十二年の参議院議員選までまとまに行なわれるにもありません。政治が乱れていて経済が安定するということはありえないことあります。うこと

であります。

十数年前から、私はこのことに着

眼し、微力ではありますが警鐘を乱打してまいりました。そして、言うだけではなく、自分も躰を張って

思い、幸に皆様のご理解、ご支援を得て議席をもたせていただきました。そしてこの一年、その考えの正しかったことを今さらに認識し、私が考えていたよりも現実は厳しく、望ましくない状態にあるという事を味わっております。

いろいろ重要な課題が山積みしていますが、この機会に基本的な問題から处置する以外に、本当の解決はないということを、心ある国民、分けても指導者の方々に、一層深くご理解いただくよう、衷心よりこいねがわずにはおられません。

故太田信義氏に捧ぐ

追悼の詞

津村重舎

太田前社長の御逝去に心から哀悼の意を表します。人格高潔、温厚、質素、明治人の中の商家の旦那の典型的な方でした。別に言ひ方をするれば、風貌はキリッとして、スマートで背高く、全くの英國風紳士でありました。

然し先輩の何れの方々と同じく内に秘めた商売熱心さは自然と外に表わされておりました。私の父も、太田さんは質の良いものを安く特売もされず、支払いも良くやって居られた



故太田信義氏

ことに感心をしていました。広告も突出しとか、目玉とか言われたものを地道に終始続けて居られました。こうした政策は即ち御性格であったのでしょうが今から思えば大いに勉強になつたものだと有難く思つて居ります。

初めてお会いしたのは確か懇話会

という会でした。此の会は父が皆様に話しかけて作ったのだと申しております。父がなくなりました翌

月、義兄にあたる守田宝丹が、此の会

ならば安心だから出て来い、と私の母に説明をして二回程私の家に誘いに來てくれたのです。メンバーは

山崎帝國堂さん、大木さん、玉置さん、堀内さん、喜谷さん、岸田吟香さん、高木さん、安川さん、敬天堂と守田と順天堂といつたところでした。まだどなたか忘れていた方もあります。

●三月十日当組合広告委員会主催

東京薬友会協賛講演会を左記により

開催、出席者約八十名の多数で盛会

裡に終了。

一、場所 東京薬業会館

一、演題 大衆薬の発展を考える

一、講師 常松巳一先生（薬業経

済研究所常務理事）

菊花薫る十月、次の各氏に左の賞が贈られました。益々御健勝で業界のため、ご尽瘁あらんことを祈り、心からご祝福申し上げます。（敬称略）

厚生大臣賞 田中貞雄（大木製藥

会であつたものです。そしてその

に於て（厚生委員会主催）春季懇親会を開催、出席者三十八名で盛会裡

に行われた。

○七月十四日当組合販売対策委員会

主催（東京薬友会協賛）講演会を左記により開催、出席者約七十名の多

数で盛会裡に終了。

一、場所 東京薬業会館
一、演題 銀行から見た一般薬業

声であつたと記憶しています。私も親切にして下さった良き先輩であつた訳です。又、一人良い方を失つてしましました。

謹んでご冥福をお祈り申上ます。

事務局だより

●新規加入組合員ご紹介

昭和四十九年十月二日

大草薬品株式会社東京出張所

昭和五十年七月十一日

ホーリー株式会社東京営業所

●三月十日当組合広告委員会主催

東京薬友会協賛講演会を左記により

開催、出席者約八十名の多数で盛会

裡に終了。

一、場所 東京薬業会館

一、演題 大衆薬の発展を考える

一、講師 常松巳一先生（薬業経

済研究所常務理事）

菊花薫る十月、次の各氏に左の賞が贈られました。益々御健勝で業界のため、ご尽瘁あらんことを祈り、心からご祝福申し上げます。（敬称略）

厚生大臣賞 田中貞雄（大木製藥

会であつたものです。そしてその

に於て（厚生委員会主催）春季懇親会を開催、出席者三十八名で盛会裡

に行われた。

○七月十四日当組合販売対策委員会

主催（東京薬友会協賛）講演会を左記により開催、出席者約七十名の多

数で盛会裡に終了。

一、場所 東京薬業会館
一、演題 銀行から見た一般薬業

一、講師 原田昌先生（三菱銀行調査部）

計報

界について

東京都家庭薬工業協同組合相談役（元理事長）太田信義氏（株式会社太田冒散取締役社長）には予て病気療養中のところ、八月十日ご逝去されました。葬儀は八月二十五日、青山葬儀所で執行されました。

ここに謹んで哀悼の意を表します。

榮の御受賞

昭和五十年度の業界功労者に対し

菊花薫る十月、次の各氏に左の賞が贈られました。益々御健勝で業界のため、ご尽瘁あらんことを祈り、心からご祝福申し上げます。（敬称略）

厚生大臣賞 津村順天堂副社長

株式会社代表取締役

厚生大臣賞 津村順天堂副社長

株式会社監査役

厚生大臣賞 津村順天堂副社長

株式会社監査役